

2023年 春季年会

年会プログラム

於 立教大学

2023年3月13日（月）～ 3月16日（木）

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2023年 春季年会プログラム

期 日 2023 年 3 月 13 日 (月) ～ 3 月 16 日 (木)
 場 所 立教大学池袋キャンパス
 電 話 090 - 4387 - 6893 (学会事務局) <使用期間 2023 年 3 月 13 日 (月) ～ 3 月 16 日 (木)>
 E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp (年会実行委員会)

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月10日 (金)							記者会見			理事会		
3月13日 (月)	A					P2. 原始惑星系円盤						
	B					T. 銀河団						
	C					Z1. ALMA サーベイ						
	D					W. コンパクト天体						
	E					M. 太陽						
	F					V2. 観測機器(光赤・重)						
	G					V1. 観測機器(電波)						
	H					X. 銀河形成・進化						
	I					Q. 星間現象						
	J					S. 活動銀河核						
					受 付 11:00 - 13:00				ポスター 15:30 16:30		特別セッション ALMA2030 17:00 19:00	
3月14日 (火)	A			P2. 原始惑星系円盤		V3. 観測機器(X線・γ線)						
	B			Y. 教育・広報・他		Y. 教育・広報・他						
	C			Z1. ALMA サーベイ		Z1. ALMA サーベイ						
	D			W. コンパクト天体		W. コンパクト天体						
	E			M. 太陽		M. 太陽						
	F			V2. 観測機器(光赤・重)		V2. 観測機器(光赤・重)						
	G			V1. 観測機器(電波)		V1. 観測機器(電波)						
	H			X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化						
	I			Q. 星間現象		Q. 星間現象						
	J			S. 活動銀河核		S. 活動銀河核						
	K			ジュニアセッション (詳細は https://www.asj.or.jp/jsession/ にて)								
3月15日 (水)	A			V3. 観測機器(X線・γ線)		V3. 観測機器(X線・γ線)						
	B			P1. 星形成		P1. 星形成						
	C											
	D			W. コンパクト天体		W. コンパクト天体						
	E			M. 太陽		R. 銀河						
	F			V2. 観測機器(光赤・重)		V2. 観測機器(光赤・重)						
	G			U. 宇宙論		U. 宇宙論						
	H			X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化						
	I			Q. 星間現象		P3. 惑星系						
	J			N. 恒星・恒星進化		N. 恒星・恒星進化						
				ジュニアセッション (詳細は https://www.asj.or.jp/jsession/ にて)								
3月16日 (木)	A			V3. 観測機器(X線・γ線)		V3. 観測機器(X線・γ線)						
	B			P1. 星形成		P1. 星形成						
	C											
	D			W. コンパクト天体		W. コンパクト天体						
	E			R. 銀河		R. 銀河						
	F											
	G			U. 宇宙論		U. 宇宙論						
	H			X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化						
	I			P3. 惑星系		P3. 惑星系						
	J			N. 恒星・恒星進化		N. 恒星・恒星進化						
				ジュニアセッション (詳細は https://www.asj.or.jp/jsession/ にて)								

※午前セッション [1日目] - [2日目] 10:00～12:10 [3日目] 10:00～12:10 [4日目] 10:00～12:10
 ※午後セッション [1日目] 13:00～15:10 [2日目] 13:30～15:40 [3日目] 13:30～15:40 [4日目] -

A 会場 : 5号館 B棟 1F (5124)	H 会場 : 5号館 B棟 3F (5322)
B 会場 : 5号館 B棟 1F (5125)	I 会場 : 5号館 B棟 3F (5323)
C 会場 : 5号館 B棟 2F (5221)	J 会場 : 5号館 B棟 3F (5324)
D 会場 : 5号館 B棟 2F (5222)	K 会場 : 5号館 C棟 1F (5123)
E 会場 : 5号館 B棟 2F (5223)	※定員が超過した場合は、予備室 (P.9 参照) をご利用ください
F 会場 : 5号館 B棟 2F (5224)	受 付 : 5号館 A棟 1F ロビー
G 会場 : 5号館 B棟 3F (5321)	展示コーナー : 5号館 A棟 3F (5304)

◎講演数

講演数：合計 593

(口頭講演 (a)：492、ポスター講演 (b)：85、ポスター講演 (c)：16)

◎参加申込について (参加希望者は、必ず事前に参加申込をしてください)

2016 年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会 員	非 会 員
参 加 費	正会員学生:2,000 円 (不課税) 正会員一般:5,000 円 (不課税) 準 会 員:5,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
講演登録費	2,000 円 (不課税) (1 講演につき) 但し事前支払がない場合は、会員 3,000 円 / 非会員 6,000 円	5,000 円 (消費税込み・企画セッション)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み) ※購入希望者のみ	

○参加申込受付場所：学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>)

○参加申込受付期間：2023 年 1 月 10 日正午～2 月 28 日正午

※講演者の方も講演登録費支払期間に参加申込・参加費支払が必要です

※原則として講演登録費・参加費の返金はいたしません

◎講演に関する注意

- 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。
ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、
講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

- ポスター (添字 b、c) はポスター会場での掲示 (現地発表希望者) およびオンライン上で公開いたします。
オンライン公開用にポスターファイルの提出をお願いいたします。オンラインでのポスターセッションは Slack を利用して質疑応答をお願いします。(添字 a の講演者にも Slack チャンネルはご用意いたします)
- 口頭講演者 (添字 a、b、r) は、現地会場またはオンラインで発表していただきます。
セッション 開始 5 分前から座長が講演方法の説明をいたします。講演者はなるべくご参加ください。
口頭講演は原則としてご自身の PC を用いて講演いただきますが、バックアップ用講演ファイルを任意で事前提出いただき、接続トラブル時に利用します。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、発表方法が変更になる場合がございます。
最新の情報はホームページで必ずご確認ください。

- オンライン聴講者は、セッション開始時刻の 5 分前からアクセスいただけます。
また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
視聴者	「氏名」+「(所属)」	天文花子 (天文大学)

- 講演の実施方法の詳細は、学会ホームページに掲載いたします。事前に講演方法についてよく確認いただいた上で準備を進めていただくようお願いいたします。オンラインで参加される方は、Zoom の操作手順に関する理解を深めていただくようお願いいたします。
- 受信画像や発表資料の保存 (キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月10日(金)	14:00 ～ 15:00	オンライン	記者会見
3月12日(日)	13:30 ～ 16:00	太刀川カンファレンスルーム / オンライン	公開講演会
3月13日(月)	17:00 ～ 19:00	K 会場 / オンライン	特別セッション ALMA2030: Wideband Sensitivity Upgrade
3月14日(火)	17:00 ～ 18:30	K 会場 / オンライン	天文教育フォーラム
3月15日(水)	16:00 ～ 17:30	K 会場 / オンライン	会員全体集会
3月15日(水)	17:30 ～ 19:00	K 会場 / オンライン	受賞記念講演（林忠四郎賞・研究奨励賞）

◎会合一覧表

※今回、通常の会合は募集しておりません。

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否※
3月10日(金)	17:00 ～ 18:00	オンライン	理事会	D
3月14日(火)	12:20 ～ 13:20	K 会場 / オンライン	代議員総会	D

※年会参加者の参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎特別セッション：「ALMA 2030: Wideband Sensitivity Upgrade」

日 時：2023年3月13日（月）17：00～19：00

場 所：K会場 / オンライン

概 要： アルマ望遠鏡は、科学運用の開始から10周年を迎えました。この間、惑星の誕生や銀河の初期進化、宇宙の有機分子探査をはじめとしてさまざまなテーマで多くの観測成果をあげてきました。これらアルマ望遠鏡による成果や天文学全体の進展を背景として、2020～2030年代に挑むべき次の科学目標とそのために必要なアルマ望遠鏡の機能強化についての議論を、国内外の研究者コミュニティと協力して行い、結果は「ALMA Development Roadmap」として公開されました。今後、アルマ望遠鏡は段階的に機能強化を進めていきます。その重要項目の一つとして、帯域拡張による感度向上計画が進行しています。ALMA Wideband Sensitivity Upgrade (WSU) と呼ばれるこの計画は、受信機中間周波数を2-4倍拡張させるとともに、伝送系、デジタイザ、および相関器の機能を大幅にアップグレードするものです。これにより、アルマの連続波撮像効率が3倍以上、輝線撮像効率が2-3倍、さらに高周波数分解能(0.1-0.2 km/s)の観測帯域幅が4-68倍向上することが見込まれます。本セッションでは、アルマ望遠鏡の現状とWSUの概要および装置開発について紹介し、WSUによって拓かれる2030年代のミリ波・サブミリ波サイエンスの新展開についてコミュニティの皆様と共有し、議論します。

プログラム：1. ALMAの現状とWSUの概要

Alvaro Gonzalez (国立天文台・ALMA Project Manager)

2. WSUがもたらすミリ波・サブミリ波サイエンスの新展開

廿日出文洋 (東京大学)

3. WSUの装置開発

Alvaro Gonzalez (国立天文台・ALMA Project Manager)

4. アルマ科学諮問委員会からの報告

坂井南美 (理化学研究所・アルマ科学諮問委員会委員長)、佐川英夫 (京都産業大学・アルマ科学諮問委員会副委員長)

5. 全体討論・質疑応答

世 話 人：Alvaro Gonzalez、深川美里、伊王野大介、廿日出文洋

主 催：国立天文台アルマプロジェクト、アルマ科学諮問委員会

◎天文教育フォーラム：「天文学研究 / 教育におけるダイバーシティ推進」

日 時：2023年3月14日（火）17：00～18：30

場 所：K会場 / オンライン（要申込。天文教育フォーラムのみ参加の場合、参加費は無料です）

概 要： 日本天文学会・天文学コミュニティでは、長きにわたり男女共同参画の取り組みを進めてきています。この中には、年会時の一時保育の実施や、節目節目でのアンケート調査とその公表、また「女子中高生夏の学校」への支援を通じての女子生徒への働きかけなどが含まれています。

しかし、このような取り組みは、「ここまでやれば十分である」という明確なゴールがあるわけではなく、常に更なる改善を目指すことが求められています。また、近年では多種多様なバックグラウンドを持つ関係者に対する配慮、すなわちダイバーシティ推進のため、目に見える障壁の排除だけでなく、意識レベルでの改革も求められています。

ダイバーシティ推進においては、進路選択にとって重要な年齢層の学生・生徒への教育面での取り組みが重要となる場面もあり、「女子中高生夏の学校」への参加はこの点から行っているものです。今回の教育フォーラムでは、このような取り組みを俯瞰し、それらをさらに充実させるために、広く意見交換できることを期待しています。

話題提供：(1)「日本天文学会における男女共同参画・ダイバーシティ」

野村英子氏 (国立天文台・男女共同参画委員長)

(2)「女子中高生夏の学校（夏学）における日本天文学会の貢献」

白田・佐藤功美子氏 (国立天文台)

実行委員：鴈野重之、松岡義一、富田晃彦、白田・佐藤功美子

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎日本天文学会公開講演会

日 時：2023 年 3 月 12 日（日）13：30～16：00（開場 13:00）
 形 式：対面とオンラインを併用したハイブリッド形式
 場 所：【対面】立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館 3F 太刀川カンファレンスルーム
 住所：東京都豊島区西池袋 3-34-1
 【オンライン】Zoom/webinar
 ※新型コロナ感染拡大防止のため、対面開催の予定を変更させて頂く場合があります。

対 象：中学生以上・一般向け

テ ー マ：「ブラックホール物理と星・惑星科学 ―ブラックホールの観測と惑星探査―」

最近のノーベル物理学賞受賞研究をはじめとしてブラックホールに関する研究の話題が溢れています。日々進歩するブラックホールの研究を身近なものとして、また、ブラックホールに関連する日本の研究が世界をリードしていることを解説します。また、宇宙として最も身近な対象は惑星でしょう。特に、日本では、「はやぶさ2」をはじめとした惑星探査機が数々の成果を挙げ、多くの一般の方の大きな関心を掴みました。当会においては、二つの話題に関わる研究者が、その最先端の研究状況と日本の活躍を語ります。

講師・タイトル：下記をご参照ください。

参 加 費：無料（学会ホームページにて事前登録が必要です）

定 員：【対面】80 名（事前登録制・先着順）、【オンライン】1,000 名（事前登録制・先着順）

<講演内容の紹介>

講演 1：「X 線で見えるブラックホール」

講師：山田真也（立教大学理学部 准教授）

日本の人工衛星を用いた X 線観測は約 40 年以上前から始まり、来年度、最新の X 線観測衛星 XRISM が打ち上がる予定です。XRISM 衛星の主検出器である極低温 X 線カロリメータの開発担当者として、開発状況からブラックホールサイエンスの話まで、わかりやすく紹介します。

講演 2：「はやぶさ 2 の小惑星旅行」

講師：亀田真吾（立教大学理学部 教授）

はやぶさ 2 は 2020 年 12 月に地球に小惑星のかけらを持ち帰りました。打ち上げは 2014 年 12 月であり、6 年間の長い旅となりました。この計画の目的 / 内容について、観測装置の開発担当者としての実体験（裏話）も含めて、ご紹介させていただきます。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

共 催：立教大学 理学部

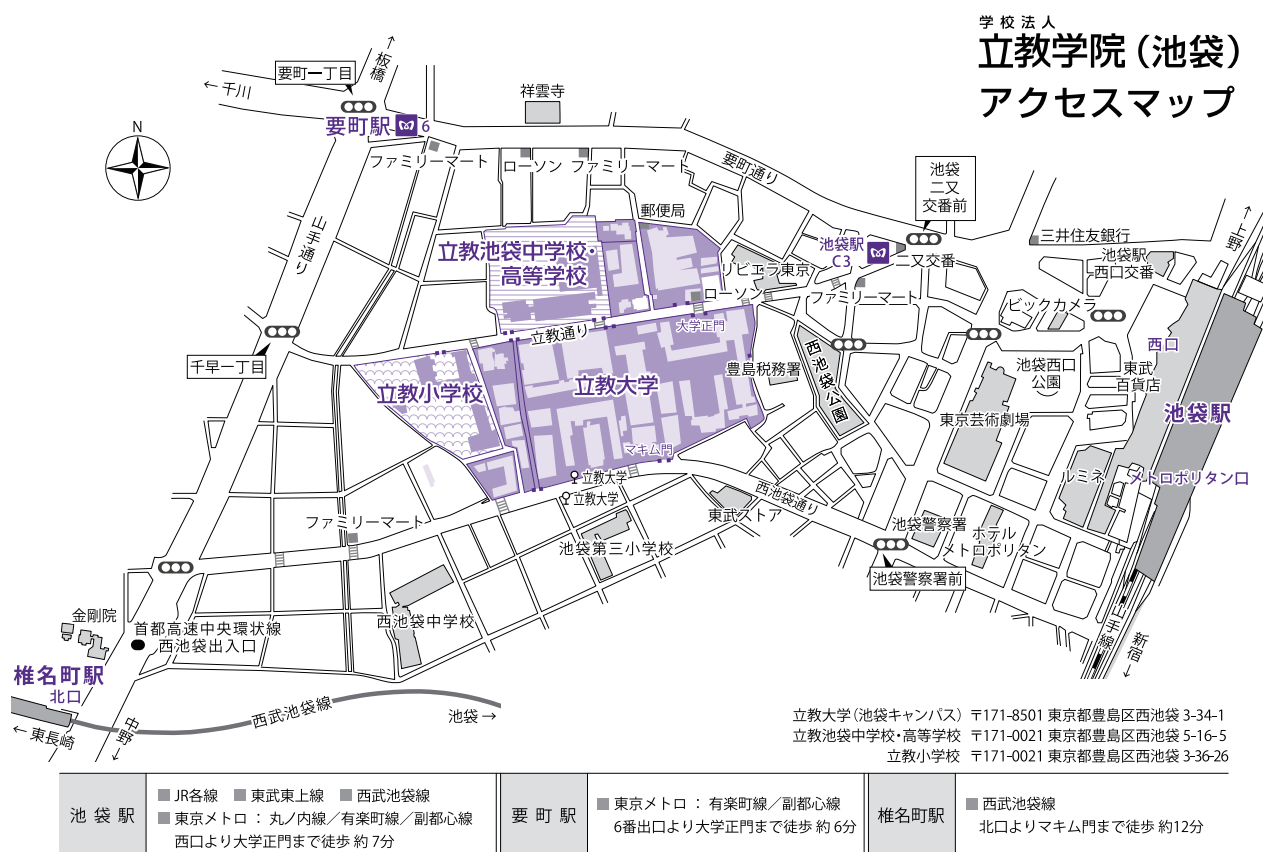
※参加申込方法、及び最新のプログラムにつきましては学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>) をご覧ください。

交通のご案内

主な交通手段と所要時間

JR 各線、東武東上線	池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 7 分
地下鉄東京メトロ	丸ノ内線 / 有楽町線 / 副都心線 池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 7 分 有楽町線 / 副都心線 要町駅 6 番出口より大学正門まで徒歩約 6 分
西武鉄道池袋線	西武池袋線池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 7 分 (改札から池袋駅西口まで、徒歩約 5 分)

池袋駅から立教大学への地図

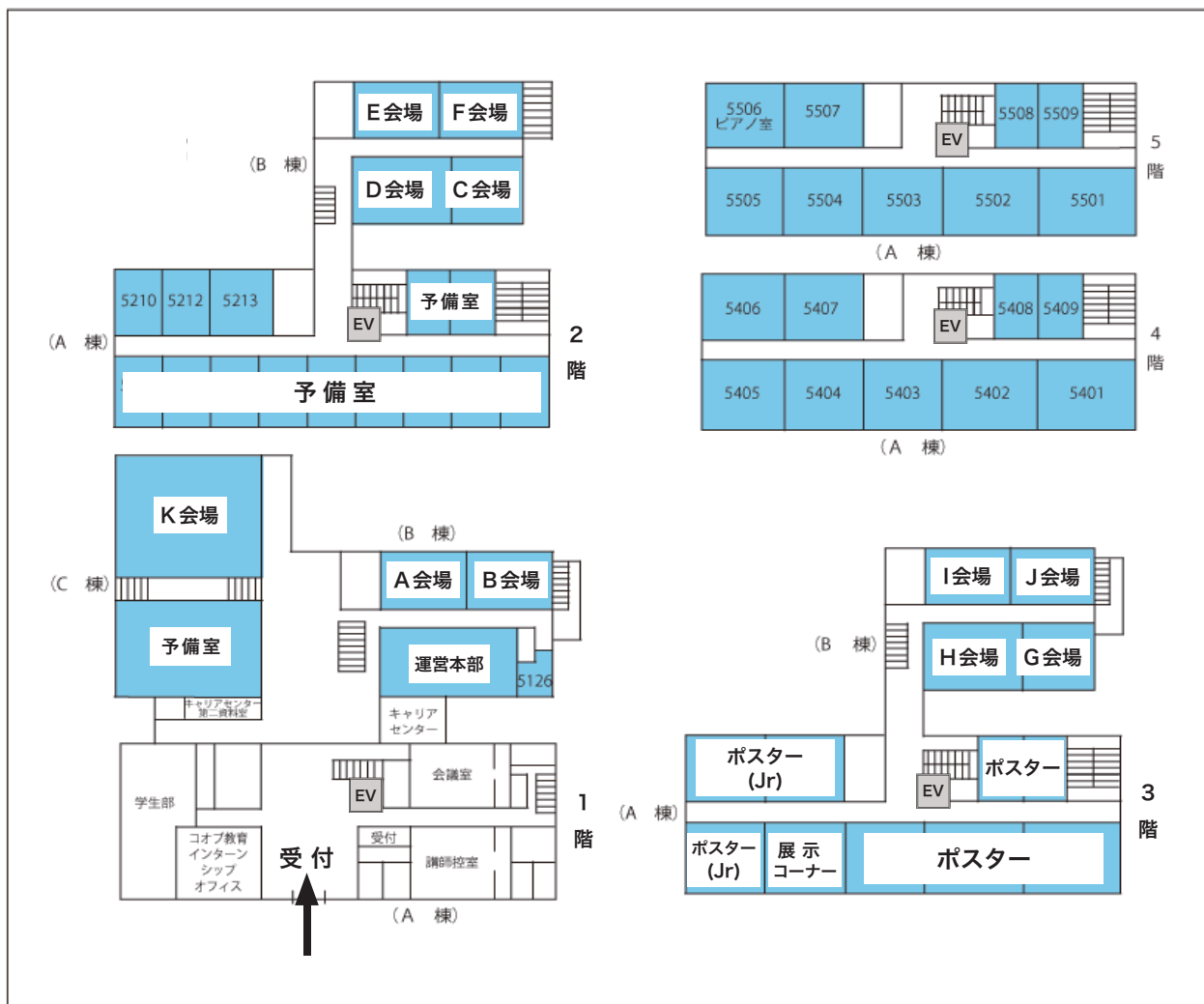


学
校
法
人



セッション会場のご案内

場所：立教大学池袋キャンパス 5号館



受付 … 体温測定・QRコード確認・名札配布を行います。各会場に移動後、ご自身で名札に名前・所属を記入してください。

EV

… エレベーター（利用できますが、小さいためなるべく階段をご利用ください）

予備室 … 会場の定員を超過した場合にご利用いただけます。各自 PC で Zoom 参加をお願いいたします。空いている場合、ご自由にご利用ください。

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	原始惑星系 円盤	銀河団	ALMA サーベイ	コンパクト 天体	太 陽	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (電波)	銀河形成	星間現象	活動銀河核
13:00	P201a	T01a	Z101r Z108r	W01a	M01a	V201a	V101a	X01a	Q01a	S01a
13:12	P202a	T02a		W02a	M02a	V202a	V102a	X02a	Q02a	S02a
13:24	P203a	T03a		W03a	M03a	V203a	V103a	X03a	Q03a	S03a
13:36	P204a	T04a		W04a	M04a	V204a	V104a	X04a	Q04a	S04a
13:48	P205a	T05a		W05a	M05a	V205a	V105a	X05a	Q05a	S05a
14:00	P206a	T06a		W06a	M06a	V206a	V106a	X06a	Q06a	S06a
14:12	P207a	T07a		W07a	M07a	V207a	V107a	X07a	Q07a	S07a
14:24	P208a	T08b		W08a	M08a	V208a	V108a	X08a	Q08a	S08a
14:36	P209b P210b	-		W09a	M09a	V209a	V109b V110b V111b	X09b X10b X11b	Q09a	S09b S10b S11b
14:48	-	-		W10a	M10b M11b	V210a	V112b V113b V114b	X12b X13b X14b	Q10a	S12b
15:00	-	-	W11b	-	-	-	X15b	-	-	
15:30	ポスター									
17:00	特別セッション ALMA2030: Wideband Sensitivity Upgrade									

口頭セッション 3月14日(火)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	原始惑星系 円盤	教育・他	ALMA サーバイ	コンパクト 天体	太 陽	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (電波)	銀河形成	星間現象	活動銀河核
10:00	P211a	Y01a	Z109r Z117a	W12a	M13a	V211a	V115a	X16a	Q11a	S13a
10:12	P212a	Y02a		W13a	M14a	V212a	V116a	X17a	Q12a	S14a
10:24	P213a	Y03a		W14a	M15a	V213a	V117a	X18a	Q13a	S15a
10:36	P214a	Y04a		W15a	M16a	V214a	V118a	X19a	Q14a	S16a
10:48	P215a	Y05a		W16a	M17a	V215a	V119a	X20a	Q15a	S17a
11:00	P216a	Y06b Y07b Y08b		W17a	M18a	V216a	V120a	X21a	Q16a	S18a
11:12	P217a	Y09b Y10b Y11b		W18a	M19a	V217b V218b V219b	V121a	X22a	Q17a	S19a
11:24	P218b P219b	Y12b Y13b Y14b		W19b W20b W21b	M20a	V220b V221b V222b	V122a	X23a	Q18a	S20a
11:36	-	Y15b Y16b		W22b	M21a	-	V123b V124b V125b	X24a	Q19a	S21a
11:48	-	-		-	M22a	-	V126b V127b	X25a	Q20a	S22b S23b S24b
12:10	昼休み (代議員総会)									
開始時刻	観測機器 (X 線・γ 線)	教育・他	ALMA サーバイ	コンパクト 天体	太 陽	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (電波)	銀河形成	星間現象	活動銀河核
13:30	V301a	Y18a	Z118r Z126b	W23a	M23a	V225a	V129a	X26a	Q21a	S25a
13:42	V302a	Y19a		W24a	M24a	V226a	V130a	X27a	Q22a	S26a
13:54	V303a	Y20a		W25a	M25a	V227a	V131a	X28a	Q23a	S27a
14:06	V304a	Y21a		W26a	M26a	V228a	V132a	X29a	Q24a	S28a
14:18	V305a	Y22a		W27a	M27a	V229a	V133a	X30a	Q25a	S29a
14:30	V306a	Y23a		W28a	M28a	V230a	V134a	X31a	Q26a	S30a
14:42	V307a	Y24a		W29a	M29a	V231a	V135a	X32a	Q27a	S31a
14:54	V308b V309b V310b	Y25a		W30a	M30a	V232a	V136a	X33a	Q28a	S32a
15:06	V311b	Y26a		W31b W32b W33b	M31a	V233a	V137a	X34a	Q29a	S33b
15:18	-	-		-	M32a	-	V138a	X35a	Q30b Q31b	-
16:00	ポスター									
17:00	天文教育フォーラム									

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	観測機器 (X線・γ線)	星形成		コンパクト 天体	太 陽	観測機器 (光赤・重)	宇宙論	銀河形成	星間現象	恒星進化
10:00	V314a	P101a		W34a	M33a	V234a	U01a	X36a	Q32a	N01a
10:12	V315a	P102a		W35a	M34a	V235a	U02a	X37a	Q33a	N02a
10:24	V316a	P103a		W36a	M35a	V236a	U03a	X38a	Q34a	N03a
10:36	V317a	P104a		W37a	M36a	V237a	U04a	X39a	Q35a	N04a
10:48	V318a	P105a		W38a	M37a	V238a	U05a	X40a	Q36a	N05a
11:00	V319a	P106a		W39a	M38a	V239a	U06a	X41a	Q37a	N06a
11:12	V320a	P107a		W40a	M39a	V240a	-	X42a	Q38a	N07a
11:24	V321a	P108a		W41a	M40a	V241a	-	X43a	Q39a	N08a
11:36	V322a	P109a		W42a	M41a	V242a	-	X44a	Q40a	N09a
11:48	-	P110b		W43a	M42a	V243a	-	X45a	-	N10b N11b N12b
12:00	-	-	W44b	-	V244a	-	-	-	-	
12:10	昼休み									
開始時刻	観測機器 (X線・γ線)	星形成		コンパクト 天体	銀 河	観測機器 (光赤・重)	宇宙論	銀河形成	惑星系	恒星進化
13:30	V323a	P111a		W45a	R01a	V245a	U08a	X46a	P301a	N17a
13:42	V324a	P112a		W46a	R02a	V246a	U09a	X47a	P302a	N18a
13:54	V325a	P113a		W47a	R03a	V247a	U10a	X48a	P303a	N19a
14:06	V326a	P114a		W48a	R04a	V248a	U11a	X49a	P304a	N20a
14:18	V327a	P115a		W49a	R05a	V249a	U12a	X50a	P305a	N21a
14:30	V328a	P116a		W50a	R06a	V250a	U13a	X51a	P306a	N22a
14:42	V329a	P117a		W51a	R07a	V251a	U14a	X52a	P307a	N23a
14:54	V330a	P118a		W52a	R08a	V252b V253b V254b	U15a	X53a	P308a	N24a
15:06	V331a	P119a		W53a	R09b	-	U16b	X54a	P309a	N25a
15:18	-	P120a		W54a	-	-	-	-	P310a	N26a
15:30	-	P121a	-	-	-	-	-	-	N27a	
16:00	会員全体集会									
17:30	受賞記念講演									

口頭セッション 3月16日(木)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	観測機器 (X線・γ線)	星形成		コンパクト 天体	銀河		宇宙論	銀河形成	惑星系	恒星進化
10:00	V332a	P122a		W55a	R10a		U17a	X55a	P311a	N28a
10:12	V333a	P123a		W56a	R11a		U18a	X56a	P312a	N29a
10:24	V334a	P124a		W57a	R12a		U19a	X57a	P313a	N30a
10:36	V335a	P125a		W58a	R13a		U20a	X58a	P314a	N31a
10:48	V336a	P126a		W59a	R14a		U21a	X59a	P315a	N32a
11:00	V337a	P127a		W60a	R15a		U22a	X60a	P316a	N33a
11:12	V338a	P128a		W61a	R16a		U23a	X61a	P317a	N34a
11:24	-	P129a		W62a	R17a		U24a	X62a	P318a	N35a
11:36	-	P130a		W63a	R18b		U25a	X63a	P319a	N36a
11:48	-	P131b P132b P133b		W64a	-		U26b	-	P320b P321b P322b	N37a
12:00	-	P134b P135b		-	-		-	-	-	-
12:10	昼休み									
13:30	ポスター									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります。

ポスターセッション 3月13日(月)、3月14日(火)、3月16日(木)

【Z1. ALMA サーベイ】(1) Z126b	【U. 宇宙論】(3) U07c U16b U26b
【M. 太陽】(3) M10b M11b M12c	【V1. 観測機器(電波)】(12) V109b V110b V111b V112b V113b V114b V123b V124b V125b V126b V127b V128c
【N. 恒星・恒星進化】(7) N10b N11b N12b N13c N14c N15c N16c	【V2. 観測機器(光赤外・重力波・その他)】(11) V217b V218b V219b V220b V221b V222b V223c V224c V252b V253b V254b
【P1. 星・惑星形成(星形成)】(7) P110b P131b P132b P133b P134b P135b P136c	【V3. 観測機器(X線・γ線)】(6) V308b V309b V310b V311b V312c V313c
【P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)】(4) P209b P210b P218b P219b	【W. コンパクト天体】(9) W11b W19b W20b W21b W22b W31b W32b W33b W44b
【P3. 星・惑星形成(惑星系)】(4) P320b P321b P322b P323c	【X. 銀河形成・進化】(7) X09b X10b X11b X12b X13b X14b X15b
【Q. 星間現象】(2) Q30b Q31b	【Y. 天文教育・広報普及・その他】(13) Y06b Y07b Y08b Y09b Y10b Y11b Y12b Y13b Y14b Y15b Y16b Y17c Y27c
【R. 銀河】(3) R09b R18b R19c	
【S. 活動銀河核】(8) S09b S10b S11b S12b S22b S23b S24b S33b	
【T. 銀河団】(1) T08b	

Z1. ALMAサーベイ観測による星・円盤・惑星系形成研究の進展

3 月 13 日（月）午後・C 会場		3 月 14 日（火）午前・C 会場	
13:00	趣旨説明	10:00	Z109r FAUST: Fifty AU STudy of the chemistry in the disk/envelope system of Solar-like protostars 大屋瑤子（京都大学）
13:02	Z101r Early Planet Formation in Embedded Disks (eDisk): overview and first results Ohashi, Nagayoshi (ASIAA)	10:20	Z110a FAUST: 非常に若い低質量原始星 IRAS 15398-3359 の物理・化学構造 大小田結貴（理化学研究所）
13:22	Z102a eDisk により得られた原始星円盤の観測の輻射輸送モデル 高桑繁久（鹿児島大学）	10:32	Z111a Probing the Flared Disk of IRAS04368+2557 with Sulfur-bearing Molecules (FAUST) Zhang, Ziwei E. (RIKEN)
13:34	Z103a eDisk IRAS16253-2429 観測を例にした原始星系の構造・力学解析 麻生有佑(国立天文台/韓国天文研究院)	10:44	Z112a Class 0/1 小質量原始星 R CrA IRS7B における 50 au スケールの化学組成分布 渡邊祥正（芝浦工業大学）
13:46	Z104a eDisk First-look Result: 原始星 Ced110 IRS4A 周囲の円盤におけるサブストラクチャー形成の可能性 崔仁士 (ASIAA)	10:56	Z113a Multiple star formation in the VLA 1623-2417 region revealed by FAUST 大橋聡史（理化学研究所）
13:58	Z105a Class 0 原始星 CB 68 の降着ストリーマーと化学構造 城戸未宇（鹿児島大学）	11:08	Z114a Class 0 原始星連星系 VLA1623A1/A2/B システムの固有運動の解析 西合一矢（鹿児島大学）
14:10	Z106a ALMA アーカイブデータを用いた太陽系近傍星形成領域における原始星アウトフローの統計的研究 (6) : アウトフローの性質と原始星円盤との関係 徳田一起（九州大学/国立天文台）	11:20	Z115a PErseus ALMA CHEmical Survey (PEACHES) 坂井南美（理化学研究所）
14:22	Z107a ALMA アーカイブデータを用いた太陽系近傍星形成領域における原始星アウトフローの統計的研究 (7) : 原始星 WL17 は本当に若いのか？ 原田直人（九州大学）	11:32	Z116a MAGellanic Outflow and chemistry Survey (MAGOS) II : 大小マゼラン雲原始星アウトフローの物理特性 田中圭 (University of Colorado Boulder)
14:34	Z108r eDisk サーベイで得られた若い原始惑星系円盤の性質の理論的解釈 富田賢吾（東北大学）	11:44	Z117a MAGellanic Outflow and chemistry Survey (MAGOS) III : 大小マゼラン雲のホットコアサーベイ 下西隆（新潟大学）
14:54	質疑応答 (10 分)	11:56	質疑応答 (10 分)

M. 太陽

3 月 14 日（火）午後・C 会場		3 月 13 日（月）午後・E 会場	
13:30	Z118r 原始惑星系円盤の化学：MAPS プロジェクトの成果 古家健次（国立天文台）	13:00	M01a 磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指す衛星計画 PhoENiX の進捗報告（2023 年春） 成影典之（国立天文台）
13:50	Z119r 低質量星形成過程における分子組成進化 相川祐理（東京大学）	13:12	M02a ニオブ酸リチウムエタロンを用いた太陽近赤外狭帯域チューナブルフィルターの開発 末松芳法（国立天文台）
14:10	Z120a FAUST: 低質量 Class 0 原始星天体 NGC 1333 IRAS 4C 円盤の化学層状構造 野津翔太（理化学研究所）	13:24	M03a 暗い太陽のパラドックスに対する「重い太陽仮説」の妥当性検証 佐藤匡（千葉大学）
14:22	Z121a FU Ori 型星 V883 Ori 周りの円盤における複雑有機分子の観測 大和義英（東京大学）	13:36	M04a 太陽が作る 1/f 揺らぎ 中道晶香（京都産業大学）
14:34	Z122a スパースモデリングを用いた星・惑星系形成領域の ALMA 超解像度画像解析 所司歩夢（九州大学）	13:48	M05a Probing the solar interior with lensed gravitational waves from known pulsars 高橋 龍一（弘前大学）
14:46	Z123a 低質量天体 ZZ Tau IRS の非対称円盤における粒子成長 寺田由佳（国立台湾大学/ASIAA）	14:00	M06a 赤道加速を達成した超高解像度計算の角運動量輸送のスケール解析 森敬都（千葉大学）
14:58	Z124a 遷移円盤最内域に滞留するコンパクトダスト円盤の検出と今後の観測計画 折原龍太（茨城大学）	14:12	M07a 輻射磁気流体計算を用いた音波の二点間伝播時間測定への観測ケーデンスの影響評価 八田良樹（名古屋大学）
15:10	Z125a ALMAアーカイブ悉皆解析によるタイタン大気中同位体比の大規模分光サーベイ 飯野孝浩（東京大学）	14:24	M08a 表面磁束輸送モデルを用いた太陽極小期の検証 梶山侑里名（東京大学）
15:22	Z126b 原始惑星系円盤におけるダスト駆動不安定性の観測的検証に向けたモデル化 富永遼佑（理化学研究所）	14:36	M09a 惑星間空間磁場の太陽周期にわたる変動を起こす太陽磁場成分 吉田南（東京大学）
15:26	質疑応答（10 分）	14:48	M10b 太陽圏サイエンスセンターの設立と活動 増田智（名古屋大学）
		14:48	M11b H α 線と CaIIK を用いた Ellerman Bomb の高度詳細解析 市川椋大（茨城大学）
			M12c 可視光測光・分光自動追観測システム PHAST による巨大恒星フレア観測 (1) 甲原潤也（中央大学）
		15:00	質疑応答（10 分）

3 月 14 日（火）午前・E 会場			3 月 14 日（火）午後・E 会場		
10:00	M13a	Imaging Spectroscopy Diagnostics of the Cool flare Loops on 2017 September 10 Cabezas, Denis Pavel (Kyoto University)	13:30	M23a	MILOS と MERLIN インバージョンで導出された太陽極域磁場の比較 久保雅仁（国立天文台）
10:12	M14a	活動領域フレアにおける、フラックスロープの三次元不安定性の解析 木田祐希（京都大学）	13:42	M24a	対流層の底から光球までの浮上磁場シミュレーション：黒点对の非対称性生成の要因について 堀田英之（千葉大学）
10:24	M15a	野辺山電波ヘリオグラフを用いたフレアに伴う電子の加速・伝搬過程 II 松本圭太郎（名古屋大学）	13:54	M25a	ねじれの無い磁束管の浮上に伴う有限の磁気ヘリシティ注入 鳥海森（宇宙航空研究開発機構）
10:36	M16a	GAIA と F_X を用いたデリンジャー現象の規模推定 北島慎之典（防衛大学校）	14:06	M26a	深層学習による太陽高解像度画像の復元：様々な観測条件における検証 福満翔（東京大学/国立天文台）
10:48	M17a	“Time-of-Flight” 解析による太陽フレア粒子加速領域の時間変化の推定 矢倉昌也（名古屋大学）	14:18	M27a	A compression method for solar spectro-polarimetry data accumulated by Hinode SOT/SP Batmunkh, Jargalmaa (Niigata University)
11:00	M18a	飛騨天文台 SMART/SDDI および SDO/EVE を用いた 2022 年 10 月 2 日 M8.7 フレアの多波長分光 Sun-as-a-star 解析 大津天斗（京都大学）	14:30	M28a	超大型太陽望遠鏡 DKIST で観測された太陽静穏領域の対流運動と磁場構造 石川遼太郎（国立天文台）
11:12	M19a	Multi-wavelength observations of prominence eruptions on a young solar-type star 行方宏介（国立天文台）	14:42	M29a	ケーデンス 2 秒以下での高速 2 次元分光による活動領域の時間・空間変動の検出 當村一朗（大阪公立大学工業高等専門学校）
11:24	M20a	太陽長期変動におけるマイクロ波放射と各種太陽指標の関係 一太陽型・晩期型星からの熱的マイクロ波放射の解釈に向けて一 下条圭美（国立天文台）	14:54	M30a	SMART/SDDI による太陽大気における波動の伝播と磁場との関係の太陽全面にわたる観測的研究 白戸春日（京都大学）
11:36	M21a	史上最大の恒星フレアの NICER とせいめい望遠鏡による X 線・ $H\alpha$ 線観測 井上峻（京都大学）	15:06	M31a	近赤外多波長偏光分光観測の診断能力検証：光球・彩層磁気リコネクション 川畑佑典（国立天文台）
11:48	M22a	IPS 観測データと BepiColombo 衛星観測データを統合した CME の MHD シミュレーション 岩井一正（名古屋大学）	15:18	M32a	赤外 Stokes vector の時系列データから彩層ジェットの起源を探るには 松本琢磨 (ISEE)
12:00		質疑応答 (10 分)	15:30		質疑応答 (10 分)

N. 恒星・恒星進化

3月15日（水）午前・E会場			3月15日（水）午前・J会場		
10:00	M33a	飛騨天文台 DST 偏光分光観測装置を用いた He I 10830 Å によるプロミネンスの磁場観測 橋本裕希（京都大学）	10:00	N01a	アクション不安定型超新星の観測的特徴 森寛治（福岡大学）
10:12	M34a	HeI 10830Å 線の偏光分光観測によるプロミネンス内波動の診断 一本潔（京都大学）	10:12	N02a	電子捕獲型超新星と鉄コア崩壊型超新星の多色光度曲線 佐藤大仁（総合研究大学院大学）
10:24	M35a	飛騨天文台 DST 垂直分光器を用いた He I 10830 Å 偏光分光空間スキャン観測によるダークフィラメント磁場診断 山崎大輝（京都大学）	10:24	N03a	$^{12}\text{C}(\alpha, \gamma)^{16}\text{O}$ 反応率不定性が対不安定型超新星の元素合成に与える影響 川下大響（東京大学）
10:36	M36a	IRIS の分光観測によるコロナホール底部へ伝播する波動の研究 内藤由浩（総合研究大学院大学）	10:36	N04a	重力崩壊型超新星爆発における ^{56}Ni 元素合成の詳細な描像と、 ^{56}Ni 問題について 澤田涼（東京大学）
10:48	M37a	深層学習による動画予測手法を用いた SDO 紫外線画像の全球時系列予測 佐々木明良（新潟大学）	10:48	N05a	II _n 型超新星の水素ライン形状と爆発前質量放出機構の関係 石井彩子（山形大学）
11:00	M38a	機械学習を用いた太陽電波放射からの EUV 放射スペクトルの予測 前田護（防衛大学校）	11:00	N06a	Ia 型超新星におけるヘリウム表層デトネーションのセル構造に関する 2 次元シミュレーション 岩田和也（京都大学）
11:12	M39a	輝線強度比を用いたコロナループの加熱分布測定による加熱機構の調査 石神瞬（総合研究大学院大学）	11:12	N07a	爆発的質量放出による II 型超新星の前兆現象 津名大地（東京大学/カリフォルニア工科大学）
11:24	M40a	Solar p-mode as an additional energy source for coronal heating 国吉秀鷹（東京大学）	11:24	N08a	種族合成計算で探る連星相互作用による星周物質との相互作用で強く光る超新星爆発の性質 黄天鋭（東京大学）
11:36	M41a	太陽コロナにおける放射凝縮現象の初期段階についての1.5次元MHDシミュレーション 吉久健朗（京都大学）	11:36	N09a	水素外層を失った大質量星からの大規模な質量放出とその後の超新星 武井勇樹（東京大学/理化学研究所）
11:48	M42a	黒点磁場をささえる電流の起源 柴崎清登（太陽物理学研究所）	11:48	N10b	3次元シミュレーションによる超新星爆発の多次元対流効果の解析 佐々木俊輔（総合研究大学院大学/国立天文台）
12:00		質疑応答（10 分）	11:48	N11b	複数の親星におけるアクションを考慮した重力崩壊型超新星爆発の比較 高田剣（福岡大学）
			11:48	N12b	RS CVn 型近接連星 σ^2 Coronae Borealis のX線フレアからの中性鉄 K α 輝線の検出 内山秀樹（静岡大学）

12:00	N13c	銀河面からの軟 X 線背景放射 (10) 安福千貴 (名古屋大学)	3 月 15 日 (水) 午後・J 会場	
	N14c	共生星 MWC560 の活動期の分光観測 安藤和子 (岡山理科大学)	13:30	N17a 非対称な超新星残骸 W49B における チタン欠乏 佐藤寿紀 (立教大学)
	N15c	原始中性子星外層の後期熱的進化に 関する解析 Liao Jinkun (東京理科大学)	13:42	N18a 星周物質の X 線精密分光解析による超 新星残骸 RCW 103 の親星推定 成田拓仁 (京都大学)
	N16c	磁場を考慮した3次元超新星モデルから の重力波 中村航 (福岡大学)	13:54	N19a 超新星残骸 G0.61+0.01 におけるジェット 状爆発の観測的証拠の発見 田中優貴子 (京都大学)
		質疑応答 (10 分)	14:06	N20a 大質量星の晩期の大規模な質量放出現 象と炭素殻フラッシュ 長谷川智也 (東京大学)
			14:18	N21a 突発的質量放出天体 WISE J180956.27- 330500.2 のダストシェル構造 (2) 山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)
			14:30	N22a 恒星・変光星の系統的長期光度変化 — 1/f 揺らぎの簡単なモデル — 森川雅博 (お茶の水女子大学)
			14:42	N23a 金属欠乏星における i-process 中性子 捕獲の特性 (2) 山田志真子 (北海道大学)
			14:54	N24a 光度曲線の数値微分を利用した接触食 連星の質量比の推定 高妻真次郎 (中京大学)
			15:06	N25a The brightness increase of the Be stars viewed in the infrared Jian, Mingjie (Stockholm University)
			15:18	N26a 可視低分散分光によるベテルギウスの TiO 分子帯吸収から求めた有効温度の 変化 大島修 (岡山理科大学)
			15:30	N27a 1999年以降のベテルギウスのUBVRI 測光 大金要次郎 (ひかり天体観測所)
			15:42	質疑応答 (10 分)

P1. 星・惑星形成 (星形成)

3 月 16 日 (木) 午前・J 会場		3 月 15 日 (水) 午前・B 会場	
10:00	N28a α Boo の彩層と星風 保田悠紀 (北海道大学)	10:00	P101a streaming velocity による初代星星団の 形成 平野信吾 (東京大学)
10:12	N29a A new grid of (magnetic) massive star evolutionary models Keszthelyi, Zsolt (CfCA/DoS/NAOJ)	10:12	P102a 宇宙初期の超大質量星形成における原 始星構造について 木村和貴 (京都大学)
10:24	N30a 磁気回転星進化理論の構築 2. ねじれ アルフベン波による自転加速現象の再現 高橋亘 (東北大学)	10:24	P103a 近接初代星原始星連星の合体条件 桐原崇亘 (筑波大学)
10:36	N31a 前主系列星の可視光高分散分光観測 山下真依 (兵庫県立大学)	10:36	P104a 種族 III 原始星星周円盤分裂と状態方 程式の硬さについて 須佐元 (甲南大学)
10:48	N32a すばる /IRD の近赤外スペクトルを用い た中期・晩期 M 型星の磁場強度変動 調査 花見卓也 (東京工業大学)	10:48	P105a 初代星形成における円盤分裂に対する 乱流磁場の影響 定成健児エリック (東北大学)
11:00	N33a M 型星フレアの彩層線輝線輪郭の青方 偏移現象 III: M 型星のコロナ質量放出 野津湧太 (コロラド大学/東京工業大学)	11:00	P106a GL 490における分子雲衝突に誘発され た星形成 山田麟 (名古屋大学)
11:12	N34a 多色測光観測による若い M 型星 K2-25 の磁気活動とその惑星トランジット観測 への影響調査 森万由子 (東京大学)	11:12	P107a フィラメント状分子雲における分子雲コア 角運動量の進化に対する磁場の影響 三杉佳明 (鹿児島大学)
11:24	N35a スパースモデリングによる恒星表面マッ ピング 幾田佳 (東京大学)	11:24	P108a 野辺山 45m 鏡 7BEE 受信機によるオリ オン座分子雲の観測 (1) 立松健一 (国立天文台)
11:36	N36a 太陽型恒星コロナ放射の系統的 X 線分 光解析と年齢依存性 伊藤駿 (名古屋大学)	11:36	P109a 大質量フィラメントの幅の維持機構 安部大晟 (名古屋大学)
11:48	N37a 自動微分可能なスペクトルモデルによる M 型矮星の大気リトリーバル 石川裕之 (アストロバイオロジーセンター /国立天文台)	11:48	P110b 隣接した MHD slow mode shock の安定性 安部大晟 (名古屋大学)
12:00	質疑応答 (10 分)	12:00	質疑応答 (10 分)

3 月 15 日（水）午後・B 会場		3 月 16 日（木）午前・B 会場	
13:30	P111a Core evolution in 70 μm -dark High-mass Clumps 森井嘉穂（東京大学）	10:00	P122a 低金属量銀河小マゼラン雲における大質量原始星の ALMA 観測 (2): 原始星に付随するフィラメント状分子雲の性質 國年悠里（大阪公立大学）
13:42	P112a BISTRO Project Status (13) 古屋玲（徳島大学）	10:12	P123a ALMA ACA 分子雲サーベイで探る大マゼラン雲の大質量星形成シナリオ 柘植紀節 (Friedrich Alexander University)
13:54	P113a 星団形成領域 Corona Australis 分子雲内部のフィラメント状構造 深谷直史（名古屋大学）	10:24	P124a Survey of NH_2CHO , HNCO , HH_2CO , and CHH_3CN toward high-mass protostars by the DIHCA Project 谷口琴美（国立天文台）
14:06	P114a 近傍の星団形成領域における分裂過程の観測的研究 石原昂将（総合研究大学院大学）	10:36	P125a 大質量星形成領域 G24.33+0.14 におけるミリ波メタノール輝線の増光 廣田朋也（国立天文台）
14:18	P115a 星形成過程において高密度コアの衝突は極めて重要な過程である 中村文隆（国立天文台）	10:48	P126a ALMA による原始星 HH270mms1 から駆動するアウトフロー・ジェットの観測 大村充輝（九州大学）
14:30	P116a 高密度コアの衝突により誘発されるストリーマ構造の形成 矢野雄大（東京大学）	11:00	P127a 前主系列星の長期モニタリング (III) 星近傍のジェット構造の長期時間変動 高見道弘（台湾中央研究院）
14:42	P117a MHD シミュレーションで探る分子雲コアの角運動量と磁場構造 木下真一（東京大学）	11:12	P128a 前主系列星のスピンダウン問題に対する解決策の提案 高棹真介（大阪大学）
14:54	P118a 分子雲コアの周辺環境が原始星への質量降着率やアウトフローに及ぼす影響 野崎信吾（九州大学）	11:24	P129a Gaia DR3 を用いた Monoceros OB1 領域の若い星の解析 西亮一（新潟大学）
15:06	P119a Insights on the Sun birth environment in the context of star-cluster formation in hub-filament systems Arzoumanian, Doris (NAOJ)	11:36	P130a Gaia DR3 を用いた Cep OB3 association の解析 樋山舜崇（新潟大学）
15:18	P120a 初代銀河における星団形成シミュレーション: 初期星質量関数 福島肇（筑波大学）	11:48	P131b ALMA を用いた大質量星形成領域に対する化学組成のサーベイ観測 塩村信人（電気通信大学）
15:30	P121a Young Massive Cluster 形成時の観測的特徴: 連続光 spectrum と高密度 HII 領域 細川隆史（京都大学）	11:48	P132b 正二十面体による HII 領域推定の拡張 王蘊玉（神戸大学）
15:42	質疑応答 (10 分)	11:48	P133b 低金属量銀河小マゼラン雲における大質量原始星の ALMA 観測 (1): 原始星アウトフローの初検出 徳田一起（九州大学/国立天文台）

P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)

12:00	P134b 非理想磁気流体力学効果が及ぼす単極アウトフロー駆動への影響 高石大輔(鹿児島大学)	3月13日(月)午後・A会場	
12:00	P135b Lindroos 天体を含む散開星団の発見 伊藤洋一(兵庫県立大学)	13:00	P201a 原始惑星系円盤の長期進化シミュレーションのためのコード開発 小林雄大(鹿児島大学)
	P136c Lupus 領域の前主系列星に付随する原始惑星系円盤の進化時間 高木悠平(国立天文台)	13:12	P202a 原始惑星系円盤の散逸過程: 中心星質量依存性 駒木彩乃(東京大学)
12:12	質疑応答(10分)	13:24	P203a 惑星が原始惑星系円盤動径方向に駆動するガス流: 惑星質量及びガスの向かい風速度依存性 桑原歩(東京工業大学)
		13:36	P204a 原始惑星系円盤の鉛直構造を考慮した永年重力不安定性の線形解析 富永遼佑(理化学研究所)
		13:48	P205a 原始惑星系円盤における乱流中のダスト成長 河原昌平(筑波大学)
		14:00	P206a ダストアグリゲイトの衝突合体成長: 粒子間相互作用モデルの影響 荒川創太(海洋研究開発機構)
		14:12	P207a 付着N体計算で探るダスト集合体の圧縮強度と岩石付着力への制限 辰馬未沙子(東京工業大学)
		14:24	P208a プラズマ合成で探る有機分子のアグリゲイト状構造の形成過程/撮像 前澤裕之(大阪公立大学)
		14:36	P209b 水氷ダストアグリゲイトとシリケートダストアグリゲイトの衝突結果の違い 長谷川幸彦(東京大学)
		14:36	P210b 微惑星形成時のダスト衝突帯電による雷発生 西澤諒(東京工業大学)
		14:48	質疑応答(10分)

P3. 星・惑星形成(惑星系)

3月14日(火) 午前・A会場		3月15日(水) 午後・I会場	
10:00	P211a Subaru/SCEXAO の高速偏光差分撮像 (Fast PDI) モードによる星周円盤の偏光観測 越坂紫織(総合研究大学院大学)	13:30	P301a 木星形成による雪線内側への氷微惑星輸送 小林浩(名古屋大学)
10:12	P212a IM Lup 周囲の原始惑星系円盤表層部におけるダスト散乱特性 田崎亮(ゲルノーブル・アルプ大学)	13:42	P302a 木星の成長及び移動段階に生じる地球型惑星領域への早期水輸送 荻原正博(上海交通大学)
10:24	P213a ダストリング幅の観測波長依存性に基づく原始惑星系円盤 HD 163296 のダストサイズ分布の推定 土井聖明(総合研究大学院大学/国立天文台)	13:54	P303a 多相媒質を扱うための非等質量粒子を用いた Volume-based SPH 法の開発 瀬野泉美(名古屋大学)
10:36	P214a ALMA 多波長観測で探る CW Tau 円盤内側領域の赤道面温度 植田高啓(Max-Planck Institute for Astronomy)	14:06	P304a 小天体衝突が形成する衝撃波圧力分布の状態方程式依存性 宮山隆志(名古屋大学)
10:48	P215a 原始惑星系円盤における輝線の圧力広がり の発見とガス面密度の直接的制約 吉田有宏(総合研究大学院大学/国立天文台)	14:18	P305a 階層的三体系における Lagrange 的安定性の軌道要素依存性 林利憲(東京大学)
11:00	P216a 自己重力不安定による低金属量巨大ガス惑星の形成 松木場亮喜(京都大学)	14:30	P306a M 型星周りにおけるハビタブルゾーン内側境界 小玉貴則(東京大学)
11:12	P217a 標準降着円盤の検討に基づくペブル集積を考慮した惑星系形成 N 体シミュレーション 神野天里(神戸大学)	14:42	P307a 太陽系外地球型惑星上層大気の検出可能性 亀田真吾(立教大学)
11:24	P218b 形成過程における原始惑星系円盤の自己重力的分裂に対する条件 高橋実道(国立天文台/鹿児島大学)	14:54	P308a 短周期惑星進化における大気散逸の影響 三谷啓人(東京大学)
11:24	P219b 月形成円盤における角運動量輸送と非線形パターン、およびその解像度依存性 山岡尊(神戸大学)	15:06	P309a 恒星高エネルギー粒子のフルエンスを考慮した系外惑星への影響評価(その3) 山敷庸亮(京都大学)
11:36	質疑応答(10分)	15:18	P310a Upper limits on transmitter rate of extragalactic civilizations placed by Breakthrough Listen observations 宇野友理(国立中興大学)
		15:30	質疑応答(10分)

3月16日(木) 午前・I会場			P323c マウナケア「星空ライブカメラ」を用いたヘルクレス座 τ 流星群の観測 長谷川均(国立天文台)
10:00	P311a MuSCAT シリーズとすばる望遠鏡 IRD インテンシブ観測によるTESSトランジット 惑星候補のフォローアップ観測 III 成田憲保(東京大学)	12:00	質疑応答(10分)
10:12	P312a トランジット測光による系外惑星 KELT- 19Ab の逆行軌道の推定 河合優悟(東京大学)		
10:24	P313a Two Unique Planetary Systems around Giant Stars Discovered by Okayama Planet Search Program Teng, Huan-Yu (Tokyo Institute of Technology)		
10:36	P314a すばる望遠鏡 IRD, REACH での系外惑 星・褐色矮星の観測: PyIRDによる解析 笠木結(総合研究大学院大学)		
10:48	P315a 系外惑星高分散リトリバーブル ExoJAX: 広帯域化アルゴリズム 河原創(宇宙航空研究開発機構)		
11:00	P316a 「あかり」遠赤外線全天観測による3つ の黄道面付近ダストバンド構造の検出と 各ダストバンドの起源小惑星族の推定 大坪貴文(国立天文台)		
11:12	P317a C/2021A1(Leonard) の偏光観測 鈴木文二(渋谷教育学園幕張高校)		
11:24	P318a 木星衛星イオの環境を想定した SO ₂ 霜 の生成及び変性実験 古賀亮一(名古屋大学)		
11:36	P319a 土星リング内の小衛星が作るギャップ構造 鳥居尚也(東京工業大学)		
11:48	P320b 太陽系外惑星 TrES-1b の近赤外線での トランジット観測 植野雅々(兵庫県立大学)		
11:48	P321b すばる HSC-SSP Public Data Release 2 既知太陽系小天体カタログ 大坪貴文(国立天文台)		
11:48	P322b 衛星周回機を想定した金星大気のサブ ミリ波ヘテロダイン分光の放射輸送計算 前澤裕之(大阪公立大学)		

Q. 星間現象

3月13日（月）午後・I会場		3月14日（火）午前・I会場	
13:00	Q01a 超新星残骸 G359.0-0.9 の X 線解析による親星の質量制限 松永海（京都大学）	10:00	Q11a NICER, RXTE によるカニ星雲の月掩蔽観測を利用した周辺ハローの X 線解析 勝田哲（埼玉大学）
13:12	Q02a Tycho's SNR の星周環境モデルの構築 小橋亮介（京都大学）	10:12	Q12a 像再構成による高解像度 X 線像を使ったかに星雲の研究 森井幹雄（宇宙航空研究開発機構 / DATUM STUDIO(株)）
13:24	Q03a Ia 型超新星残骸 DEM L71 の精密 X 線分光解析による膨張速度の測定 大場晃介（東京大学）	10:24	Q13a IXPE 衛星による「かに星雲・パルサー」の X 線偏光観測 水野恒史（広島大学）
13:36	Q04a Ia 型超新星残骸 3C 397 に付随する分子雲 伊藤大将（岐阜大学）	10:36	Q14a RCW 86 東部の X 線・分子雲観測を用いた衝撃波 - 分子雲相互作用と宇宙線加速の関係の検証 馬場彩（東京大学）
13:48	Q05a 超新星残骸 G346.6-0.2 のスペクトル解析と再結合優勢プラズマの形成過程 古瀬愛実（奈良女子大学）	10:48	Q15a Fermi-LAT を用いた Vela 超新星残骸からのガンマ線放射検出と超高エネルギー電子の存在 日暮凌太（立教大学）
14:00	Q06a 再結合優勢プラズマを持つ超新星残骸 W49B における中性鉄輝線の探査 鈴木那梨（奈良女子大学）	11:00	Q16a GeV ガンマ線超新星残骸 3C 391 に付随する分子雲と宇宙線加速 寺本寛生（岐阜大学）
14:12	Q07a すざく衛星による超新星残骸 Kes 27 のプラズマの空間構造の調査 藤重朝妃（奈良女子大学）	11:12	Q17a ガンマ線超新星残骸 RX J0852.0-4622 における陽子起源・電子起源ガンマ線の観測的定量：複数平面による領域ごとのガンマ線起源の分離 有賀麻貴（名古屋大学）
14:24	Q08a Chandra 衛星による超新星残骸カシオペア座 A の北東領域の X 線時間変動解析(2) 小湊菜央（立教大学）	11:24	Q18a ガンマ超新星残骸 (SNR) における宇宙線の起源 福井康雄（名古屋大学）
14:36	Q09a 統計誤差を考慮した位置依存型 Richardson-Lucy deconvolution を用いた超新星残骸カシオペア座 A の X 線画像解析 酒井優輔（立教大学）	11:36	Q19a 超新星残骸から放射される高エネルギーガンマ線の次世代装置による観測可能性の検討 西川智隆（名古屋大学）
14:48	Q10a 超新星残骸の X 線放射分布の重心を用いた衝撃波や爆発噴出物の運動測定 鈴木寛大（甲南大学）	11:48	Q20a PeVatron 候補天体 HESS J1641-463 の X 線観測 辻直美（神奈川大学）
15:00	質疑応答 (10 分)	12:00	質疑応答 (10 分)

Q. 星間現象

3 月 14 日（火）午後・I 会場			3 月 15 日（水）午前・I 会場		
13:30	Q21a	地球磁気圏に付随した電荷交換 X 線放射の時空間変動モデル構築 伊師大貴（東京都立大学）	10:00	Q32a	かなた望遠鏡可視偏光サーベイ： Sagittarius 銀河腕中の 3 次元磁場構造 (I) 土井靖生（東京大学）
13:42	Q22a	Chandra 衛星による W50/SS433 系の東端ホットスポットの X 線詳細観測 早川亮大（立教大学）	10:12	Q33a	サブミリ波偏波観測で捉えた銀河中心領域の磁気圏に関する考察 佐藤和樹（鹿児島大学）
13:54	Q23a	ALMA 較正用天体に対する分子吸収線探査 III: QSO J1851+0035 方向の銀河系内分子ガスの化学的多様性とそれを説明する分子雲の描像 成田佳奈香（東京大学）	10:24	Q34a	Bullet Stars Leave Long Tails in the Galactic Center 坪井昌人（宇宙航空研究開発機構）
14:06	Q24a	ASTE を用いた大質量星形成領域 RCW 38 の [CI](3P_2 - 3P_1) 観測 佐野栄俊（岐阜大学）	10:36	Q35a	Near-IR spectroscopy of massive young stellar object toward the direction of the Galactic center: XCN and aromatic C-D features 尾中敬（明星大学）
14:18	Q25a	温度分布を用いた KAGONMA 天体の分子雲への星形成フィードバック 竹葉理史（鹿児島大学）	10:48	Q36a	Reverse Shock が示す高速 AGN 風でできたフェルミバブル 藤田裕（東京都立大学）
14:30	Q26a	巨大分子雲複合体 RCW 106 における銀河面に垂直に伸びたフィラメント状分子雲の発見 河野樹人（名古屋市科学館/名古屋大学）	11:00	Q37a	過去 8Gyr の天の川銀河進化史の理解と解明に向けて 霜田治朗（名古屋大学）
14:42	Q27a	銀河面に降り注ぐ中間速度中性水素雲 米田龍生（大阪公立大学）	11:12	Q38a	PeV ガンマ線で捕らえた天の川銀河ハロー内宇宙線の兆候とその銀河進化に対する意義 井上進（文教大学/理化学研究所）
14:54	Q28a	中高銀緯広域における中間速度雲の重元素量空間分布 (4) 早川貴敬（名古屋大学）	11:24	Q39a	抵抗性電場によって加速された宇宙線 2 次電子によるガスの電離 大平豊（東京大学）
15:06	Q29a	銀河面方向に位置する銀河団を用いた星間物質量の推定 安樂由実子（奈良女子大学）	11:36	Q40a	初代宇宙線による銀河間空間の加熱 横山将汰（東京大学）
15:18	Q30b	Spitzer 宇宙望遠鏡を用いた光解離領域の PAH の探査 明石一希（兵庫県立大学）	11:48		質疑応答 (10 分)
15:18	Q31b	機械学習アルゴリズムを用いた Near-Far 問題の解法 (4) 分子雲衝突天体の個数推定 藤田真司（東京大学）			
15:30		質疑応答 (10 分)			

R. 銀河

3 月 15 日 (水) 午後・E 会場		3 月 16 日 (木) 午前・E 会場	
13:30	R01a 銀河中心ブラックホール近傍における共鳴緩和 II 船渡陽子 (東京大学)	10:00	R10a Spatially resolved dust temperature in HyLIRG quasar at $z=4.4$ 津久井崇史 (Australian National University)
13:42	R02a 数値シミュレーションと機械学習を用いた天の川銀河構造の解明 黒澤里沙 (筑波大学)	10:12	R11a 複数分子複数準位輝線で探る超高光度赤外線銀河中心部における分子ガス状態 馬場俊介 (鹿児島大学)
13:54	R03a 天の川銀河のペルセウス腕における分子雲進化の研究 梅澤智幸 (筑波大学)	10:24	R12a ALMA による NGC 1068 の $\lambda=3$ mm 帯イメージング・ラインサーベイ観測 中島拓 (名古屋大学)
14:06	R04a Giant Molecular Clouds in the local dwarf galaxy NGC 6822 濤崎智佳 (上越教育大学)	10:36	R13a A statistical study of molecular emission in the starburst galaxy NGC 253 using principal component analysis (PCA) 原田ななせ (国立天文台)
14:18	R05a 棒渦巻銀河の棒部における星形成効率の統計的調査 2 前田郁弥 (東京大学)	10:48	R14a NGC 253 中心部におけるガスダイナミクスの解明 I: coherent structure の同定 小西諒太郎 (大阪公立大学)
14:30	R06a 近傍銀河における kpc スケールのガス密度頻度分布 (GDH) 松坂怜 (鹿児島大学)	11:00	R15a ALMA CO-observations of starburst-driven molecular outflow in NGC1482 MIAO, WENYAO (筑波大学)
14:42	R07a 近傍渦巻銀河の構造同定および分子ガスの速度分散と星生成効率の多様性 清水一揮 (北海道大学)	11:12	R16a ブラインド音源分離手法と精密分光観測を組み合わせたスターバースト銀河 M82 における電荷交換反応の探索 尾近洸行 (CfA)
14:54	R08a NGC 3627における星形成活動性と分子ガスの物理状態の関係 柴田和樹 (筑波大学)	11:24	R17a 重力レンズ効果を用いた銀河磁場観測のシミュレーション II 大前陸人 (総合研究大学院大学)
15:06	R09b 偏波解消特性を用いた渦状銀河の3次元磁場構造解明 田嶋裕太 (総合研究大学院大学/国立天文台)	11:36	R18b Nobeyama 45-m CO $J=1-0$ Observations of Luminous Type 1 AGNs at $z \approx 0.3$ 道山知成 (大阪大学)
15:18	質疑応答 (10 分)		R19c 超低金属量銀河 DDO154 の ^{12}CO および ^{13}CO 観測 小麦真也 (工学院大学)
		11:48	質疑応答 (10 分)

S. 活動銀河核

S. 活動銀河核

3 月 13 日 (月) 午後・J 会場		14:48	S12b	MIR Search of Heavily Obscured $z > 3$ AGN Missed in X-ray Surveys 松本尚輝 (東北大学)
13:00	S01a	15:00		GMRT 322 MHz による Broad Absorption Line クェーサーのサーベイ観測 林隆之 (国立天文台)
13:12	S02a			ALMA による近傍高光度 Swift/BAT-AGN の高解像度 CO(2-1) サーベイ観測 池田裕 (東京都立大学)
13:24	S03a			ALMA 観測で明らかにする AGN 遮蔽の 動的構造 平澤凌 (東京都立大学)
13:36	S04a			ガウス過程回帰による活動銀河核ダスト トラスの多波長同時反響マッピング 吉田篤洋 (東京大学)
13:48	S05a			The Large fraction of Luminous Obscured Quasars at Cosmic Noon Unveiled with Deep and Wide Multiwavelength Survey Vijarnwannaluk, Bovornpratch (Tohoku University)
14:00	S06a			Optical IFU Observations of GOALS Sample with KOOLS-IFU on Seimei Telescope: Initial results of 9 U/LIRGs at $z < 0.04$ 鳥羽儀樹 (国立天文台)
14:12	S07a			ポーラーダストを考慮した多波長データ 解析で探る合体銀河中の共進化過程 山田智史 (理化学研究所)
14:24	S08a			合体直前の超大質量ブラックホールバイ ナリ候補 SDSS J1430+2303 における広 輝線スペクトル変化のモニター観測 星篤志 (東北大学)
14:36	S09b			可視変光選択された活動銀河核から迫る 銀河とブラックホール共進化 星篤志 (東北大学)
14:36	S10b			Subaru HSC COSMOS 時間軸サーベイ データを用いた光度変動 AGN サンプル の構築 II: 分光フォローアップ観測 小久保充 (国立天文台)
14:36	S11b			X 線で検出された Stripe 82 領域内の 1 型クェーサー ($0.2 < z < 0.8$) における、 銀河とブラックホールの共進化 瀬戸口健太 (京都大学)

3 月 14 日（火）午前・J 会場		3 月 14 日（火）午後・J 会場	
10:00	S13a 一般的な静的球対称時空における準円軌道の近点移動 原田知広（立教大学）	13:30	S25a A better image of Sgr A* from EHT2017 data 三好真（国立天文台）
10:12	S14a 低密度領域電流層の安定性についての特殊相対論的判定条件 小出眞路（熊本大学）	13:42	S26a 広帯域 VERA 偏波観測による狭輝線セイファート 1 型銀河の中心核の探査 高村美恵子（東京大学/国立天文台）
10:24	S15a 大局的な一般相対論的磁気流体降着流の高エネルギーニュートリノ・スペクトル：宇宙線注入率および加速効率依存性 川島朋尚（東京大学）	13:54	S27a The Jet Collimation Profile Analysis and Core Shift Measurement of M84 Fariyanto, Erika Prameswari (The University of Tokyo)
10:36	S16a ポーラダストを含む活動銀河核トラスからの赤外線 SED モデル：近傍低質量活動銀河核との比較 小川翔司（京都大学）	14:06	S28a Revisit the Dragonfly Galaxy I. High-resolution ALMA and VLA Observations of the Radio Hot Spots in a Hyper-luminous Infrared Galaxy at $z=1.92$ Zhong, Yuxing (Waseda University)
10:48	S17a より内側領域を考慮した輻射駆動噴水モデルからの X 線スペクトル計算 谷本敦（鹿児島大学）	14:18	S29a 近傍高光度 Swift/BAT-AGN の広帯域 X 線解析 稲葉昂希（京都大学）
11:00	S18a 活動銀河中心核電離ガストラスからの自由自由放射 工藤祐己（鹿児島大学）	14:30	S30a 広帯域 X 線観測で探る電波銀河の中心核構造 中谷友哉（京都大学）
11:12	S19a 間欠性を利用した磁場優勢ジェットの高エネルギー散逸 草深陽（東京大学）	14:42	S31a Fe-K α 輝線反響マッピング法を用いた NGC 3516 活動銀河核構造の研究 (3) 野田博文（大阪大学）
11:24	S20a 電波銀河のジェット・強磁場降着流ハイブリッド多波長放射モデル 久世陸（東北大学）	14:54	S32a 活動銀河核の軟 X 線超過の起源：温かいコロナの加熱とその安定性 川中宣太（京都大学）
11:36	S21a ブレーザー BL Lacertae が 2020 年に生じたフレアの MAGIC 望遠鏡による観測 今澤遼（広島大学）	15:06	S33b X 線分光による電波銀河 Markarian 6 の円盤風解析 榎木大修（広島大学）
11:48	S22b ガンマ線ブレーザーのライトカーブを用いたフラックス分布解析 中屋和樹（芝浦工業大学）	15:18	質疑応答 (10 分)
11:48	S23b 大質量ブラックホールへの超臨界降着流と大局的アウトフロー構造 芳岡尚悟（京都大学）		
11:48	S24b M87 における三日月状シャドウの時間変動とブラックホール・スピンの測定 高橋幹弥（筑波大学）		
12:00	質疑応答 (10 分)		

T. 銀河団

U. 宇宙論

3 月 13 日（月）午後・B 会場			3 月 15 日（水）午前・G 会場		
13:00	T01a	弱重力レンズ効果を用いた銀河団質量推定におけるバイアスの経験的補正法 浜名 崇（国立天文台）	10:00	U01a	Extended Delta-map: a map-based foreground removal method for CMB polarization observations 南雄人（大阪大学）
13:12	T02a	非圧縮性乱流による粒子加速と Abell 2255 メガハローの起源 西脇公祐（東京大学）	10:12	U02a	宇宙複屈折に対する弱重力レンズ補正 直川史寛（東京大学）
13:24	T03a	衝突早期の銀河団 CIZA1359 で見つかった新しい電波レリッパ候補 藏原昂平（国立天文台）	10:24	U03a	原始重力波起源の CMB 偏光 B モード観測における CMB モノポールの星間吸収の影響 室越琳生（東北大学）
13:36	T04a	Wide-angle tailed 電波銀河からの非熱的放射 大村匠（東京大学）	10:36	U04a	POLARBEAR 実験による CMB 偏光を用いた Axion 探査の現状 茅根裕司（KEK/QUP）
13:48	T05a	XMM-Newton を用いた衝突銀河団 Abell 3667 の ICM 速度マッピング 大宮悠希（名古屋大学）	10:48	U05a	ミニハロー起源の 21cm 吸収線におけるサブハローの寄与～サブハローの熱的・力学的進化の影響～ 成瀬元希（名古屋大学）
14:00	T06a	RGS を用いた銀河団・銀河群中心および早期型銀河における O, Ne, Mg 測定 福島光太郎（東京理科大学）	11:00	U06a	Peculiar velocity reconstruction of galaxy clusters with CNN for the kSZ effect 谷村英樹（Kavli IPMU）
14:12	T07a	VLBI 観測によるほうおう座銀河団中心の AGN 調査 大木愛花（東京大学/国立天文台）		U07c	CMB レンズング解析における観測誤差の伝搬 III 永田竜（宇宙航空研究開発機構）
14:24	T08b	Galaxy Group Finding via Unsupervised Clustering Ma, Hai-Xia（Nagoya University）	11:12		質疑応答（10 分）
14:36		質疑応答（10 分）			

3 月 15 日（水）午後・G 会場		3 月 16 日（木）午前・G 会場	
13:30	U08a 高赤方偏移における CMB 重力レンズ信号抽出の新手法開発 新居舜（名古屋大学）	10:00	U17a 宇宙論的重力レンズ効果における平面近似の精度の検証 谷口貴紀（東京大学/Kavli IPMU）
13:42	U09a 4 重像重力レンズによる宇宙の小スケール密度揺らぎの探査 I - 手法と計画 - 井上開輝（近畿大学）	10:12	U18a 3 次元 Lyman- α forest の宇宙論解析における天体形成フィードバック効果の影響 中島光一郎（名古屋大学）
13:54	U10a 弱重力レンズサーベイにおける Super sample covariance の高速・精密な計算手法の開発 寺澤凌（東京大学/Kavli IPMU）	10:24	U19a すばる HSC の 3 年度データと SDSS データを用いた宇宙論解析：弱重力レンズ信号とクラスタリング信号の測定 宮武広直（名古屋大学）
14:06	U11a 機械学習を用いた銀河団形成史と観測量の関係の構築 YOON, Seongwhan（名古屋大学）	10:36	U20a すばる HSC の 3 年度データと SDSS データを用いた宇宙論解析： Λ CDM モデルにおける宇宙論パラメタ推定 杉山素直（東京大学/Kavli IPMU）
14:18	U12a Fast semi-analytical method for generating mock line intensity maps Zhang, Rui Lan (University of Tokyo)	10:48	U21a SDSS 及びすばる HSC で測定した弱重力レンズ、クラスタリング、赤方偏移歪みを用いた一般相対性理論の検証 中沢准昭（名古屋大学）
14:30	U13a 初期統計的非等方性の非線形構造形成への影響 片山友貴（総合研究大学院大学）	11:00	U22a HSC 3 年目と BOSS のデータを用いた一般相対論の検証 谷田幸貴（名古屋大学）
14:42	U14a Investigation of the HSC unrecognized blends with machine learning Paillassa, Maxime (Nagoya University)	11:12	U23a 光子の観測と波動 藤原ケイ
14:54	U15a 測光観測におけるバリオン音響振動の測定 石川慶太郎（名古屋大学）	11:24	U24a 宇宙の誕生過程は空であるか 青島正和
15:06	U16b 超高エネルギー宇宙線の銀河間物質に対する影響 井上進（文教大学/理化学研究所）	11:36	U25a 素粒子を作ったビッグバンの以前のブラックホールの痕に、宇宙の中心のブラックホールができた。 小堀しづ
15:18	質疑応答（10 分）	11:48	U26b ダークマターの生成とダークエネルギー 小堀しづ
		12:00	質疑応答（10 分）

V1. 観測機器

V1. 観測機器 (電波)

3 月 13 日 (月) 午後・G 会場		14:48	V114b FPGA を用いた太陽観測用電波望遠鏡の開発 竹原大智 (茨城大学)
13:00	V101a 福井工業大 10 m アンテナに搭載する Phased Array Feed の開発 山崎康正 (大阪公立大学)	15:00	質疑応答 (10 分)
13:12	V102a ミリ波帯周波数可変導波管型バンドパス フィルタの開発 堀裕一 (名古屋大学)		
13:24	V103a 広帯域電波天文受信機のための超伝導 ペンタバンド帯域通過フィルタの開発 良知颯太 (山梨大学)		
13:36	V104a 広帯域受信機のための高温超伝導マル チバンド帯域阻止フィルタの基礎検討 (2) 湯山義崇 (山梨大学)		
13:48	V105a 茨城観測局電波望遠鏡搭載広帯域 CX 帯円偏波分離器の開発 4 知念翼 (大阪公立大学)		
14:00	V106a 次世代マイクロ波放射計兼広帯域 VLBI 受信システムの開発 (IV) 氏原秀樹 (京都大学)		
14:12	V107a 野辺山 45m 鏡 7BEE 受信機の試験観測 (1) 受信機性能の評価 米山翔 (大阪公立大学)		
14:24	V108a 野辺山 45m 鏡 7BEE 受信機の試験観測 (2) ビーム特性の評価 西本晋平 (大阪公立大学)		
14:36	V109b 野辺山 45m 鏡 7BEE 受信機の試験観測 (3) 月能率の測定 立松健一 (国立天文台)		
14:36	V110b 分子分光装置 SUMIRE 用 Band7+8 受信 機の開発 渡辺隆行 (電気通信大学)		
14:36	V111b 20GHz 帯受信機中間周波数系の受信機 利得の安定化 藤森柊人 (筑波大学)		
14:48	V112b 純ニオブ材による導波管共振器を用いた 超伝導導波管の伝送特性の測定 中島拓 (名古屋大学)		
14:48	V113b 南極 30 cm サブミリ波望遠鏡用光学 ポインティングシステムの開発 II 茅野太一 (筑波大学)		

3月14日（火）午前・G会場		11:48	V127b Initial study of 15–29 GHz optics and receiver system for SKA Band 6 Yamasaki, Yasumasa (Osaka Metropolitan University)
10:00	V115a 強度干渉計実験に向けた光学系の開発 小関知宏（筑波大学）		
10:12	V116a 曲面エッチング加工を用いたサブミリ波観測用広帯域シリコンレンズの開発 長谷部孝（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）		V128c VERA-upgrade for EAVN and GVLBI 計画の進捗 VI : K-band RF Direct A/D 小山友明（国立天文台）
10:24	V117a 次世代マイクロ波背景放射偏光観測実験 Simons Observatory の現状報告 桜井雄基（岡山大学）	12:00	質疑応答（10分）
10:36	V118a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD 計画の進捗 堂谷忠靖（宇宙航空研究開発機構）		
10:48	V119a CMB 偏光観測実験 GroundBIRD に搭載する超伝導検出器 MKID の開発 田中智永（東北大学）		
11:00	V120a 月の観測データを用いた CMB 望遠鏡 GroundBIRD のビームパターンの推定 辻井未来（東北大学）		
11:12	V121a 野辺山 45 m 電波望遠鏡に搭載した 100-GHz 帯 MKIDカメラの2022年試験観測の状況と雑音性能評価に向けた開発 本多俊介（筑波大学）		
11:24	V122a 野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載用 100-GHz 帯電波カメラの解析パイプラインの開発 永井誠（国立天文台）		
11:36	V123b 野辺山 45 m 電波望遠鏡 100-GHz 帯 MKIDカメラ搭載試験におけるビーム特性の評価 李豪純（筑波大学）		
11:36	V124b 野辺山 45 m 電波望遠鏡 100-GHz 帯 MKID カメラによる大質量星形成領域 W49A の観測データの解析 石崎悠治（筑波大学）		
11:36	V125b 高萩・日立 32 m 電波望遠鏡の整備運用・状況 2023A 米倉覚則（茨城大学）		
11:48	V126b EAVN/VERA 86GHz 帯を用いた巨大ブラックホールの観測に向けて 秦和弘（国立天文台）		

V2. 観測機器 (光赤外・重力波・その他)

3 月 14 日 (火) 午後・G 会場		3 月 13 日 (月) 午後・F 会場	
13:30	V129a 分散クラスター対応の FITS WebQL SE v5 の試験運用開始 ZAPART, CHRISTOPHER (国立天文台)	13:00	V201a TMT 計画 – 進捗報告 臼田知史 (国立天文台)
13:42	V130a スパースモデリングによる電波干渉計画 像再構成手法の輝度分布モデルを用いた 定量的評価 蛭谷かおる (日本女子大学)	13:12	V202a Environmental Test of Silver-based Coatings for TMT Optics Hayashi, Saeko S. (NAOJ)
13:54	V131a Update on ALMA Operations and Development Program – Spring 2023 Gonzalez, Alvaro (NAOJ)	13:24	V203a SuMIRe-PFS[34]: プロジェクト概要と装 置開発進捗状況まとめ 2023 年春季 田村直之 (東京大学カブリ数物連携宇 宙研究機構)
14:06	V132a ビーム結合能率を指標とする公差解析 手法の開発 今田大皓 (国立天文台)	13:36	V204a SuMIRe-PFS[35]: Second spectrograph module installation and test at Subaru telescope Moritani, Yuki (NAOJ)
14:18	V133a Experimental Study of Silicon Membrane Based Superconducting Waveguide-to- CPW Transitions Shan, Wenlei (NAOJ)	13:48	V205a SuMIRe-PFS[36]: PFS の共同利用観測 に向けた科学運用の検討および開発状 況について 小野寺仁人 (国立天文台)
14:30	V134a SIS ミキサの周波数アップコンバージョン 特性に関する数値シミュレーション 上月雄人 (国立天文台)	14:00	V206a SuMIRe-PFS[37]: 2 次元 PSFモデリング に向けた解析 林康太 (東京大学カブリ数物連携宇宙 研究機構)
14:42	V135a The Next Generation Very Large Array – Spring 2023 百瀬宗武 (茨城大学)	14:12	V207a すばる望遠鏡 IRCS による熱赤外線偏光 撮像観測 工藤智幸 (国立天文台)
14:54	V136a SKA プロジェクトへの参加計画 7 赤堀卓也 (国立天文台)	14:24	V208a 東京大学 アタカマ天文台 TAO 6.5 m 望遠鏡計画 進捗報告 2023 宮田隆志 (東京大学)
15:06	V137a SKA プロジェクトに向けた科学検討 6 町田真美 (国立天文台)	14:36	V209a TAO 6.5m 望遠鏡用近赤外線観測装置 SWIMS : すばる望遠鏡での共同利用運 用報告 小西真広 (東京大学)
15:18	V138a 月面メートル波電波干渉計の実現に向け た概念設計検討 2 井口聖 (国立天文台)	14:48	V210a TARdYS の検出器システム性能評価 穂満星冴 (東京大学)
15:30	質疑応答 (10 分)	15:00	質疑応答 (10 分)

3月14日（火）午前・F会場			V223c 放物柱面鏡を有するオフセット光学システム 浅利栄治（東京農業大学）
10:00	V211a ULTIMATE-Subaru: 地表層補償光学の解析的な性能評価 大野良人（国立天文台）		V224c 可視光用大フォーマット CMOS 検出器の開発 鎌田有紀子（国立天文台）
10:12	V212a Shack-Hartmann 光学系を用いた大気乱流分布測定 - すばるでのオンスカイ試験 - 大金原（東北大学）	11:36	質疑応答（10分）
10:24	V213a Shack-Hartmann 型波面センサーを用いた大気擾乱モニターシステム MAMO の開発 小牧誠人（京都産業大学）	3月14日（火）午後・F会場	
10:36	V214a 連星系における系外惑星探査のための波面測定技術の開発 米田謙太（国立天文台）	13:30	V225a 可視3色高速撮像分光装置 TriCOS 用面分光ユニット開発 - 光学設計 - 松林和也（東京大学）
10:48	V215a 広視野近赤外線望遠鏡 PRIME の進捗状況 山響（大阪大学）	13:42	V226a せいめい望遠鏡に搭載する系外惑星探索専用高分散分光器 GAOES-RV: 初期性能評価 佐藤文衛（東京工業大学）
11:00	V216a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の現状 陳たん（国立天文台）	13:54	V227a 岡山 188cm 鏡 / HIDES-F における高精度視線速度測定のための天文コンピュータの解析 細井雄大郎（東京工業大学）
11:12	V217b すばる望遠鏡レーザーガイド星高出力化と性能評価 美濃和陽典（国立天文台）	14:06	V228a 近赤外線高分散分光器 WINERED: Magellan 望遠鏡ファーストライト 竹内智美（京都産業大学）
11:12	V218b 補償光学で用いる4ビームレーザーガイド星の伝搬モデルの開発 小鹿哲雅（関西学院大学）	14:18	V229a OISTER 連携観測で明らかになった Starlink's Visorsat の反射光低減効果 堀内貴史（東京大学）
11:12	V219b ハワイ・ハレアカラ東北大 60cm 望遠鏡に搭載する補償光学装置の開発 吉野富士香（東北大学）	14:30	V230a 三波長同時撮像装置 MuSaSHI のぐんま天文台 150cm 望遠鏡搭載と観測 (2) 金井昂大（埼玉大学）
11:24	V220b 高コントラスト観測法 Coherent Differential Imaging on Speckle Area Nulling (CDI-SAN) の開発 2 米田謙太（国立天文台）	14:42	V231a 明野・岡山 50cm 可視光望遠鏡 MITSuME の 2022 年度運用実績 高橋一郎（東京工業大学）
11:24	V221b 引き摺り3点計測法による 1.8m 軸外し望遠鏡 PLANETS 主鏡の研磨 鍵谷将人（東北大学）	14:54	V232a 天体画像における深層学習を用いたラインノイズ除去手法 江良真結子（東京工業大学）
11:24	V222b 京都大学飛騨天文台太陽磁場活動望遠鏡マグネトグラフの高精度化 永田伸一（京都大学）	15:06	V233a Tomo-e Gozen 広域サーベイの動的最適化システムの開発 津々木里咲（東京大学）
		15:18	質疑応答（10分）

V2. 観測機器

3月15日（水）午前・F会場		3月15日（水）午後・F会場	
10:00	V234a 紫外線宇宙望遠鏡のフォーカス調整システムの開発 渋川雅人（早稲田大学）	13:30	V245a 銀河進化・惑星系形成観測ミッションの概要 井上昭雄（早稲田大学）
10:12	V235a 紫外線突発天体探査衛星うみつばめの突発天体検知手法開発 能登亮太郎（東京工業大学）	13:42	V246a HCWを用いた Immersion Grating 材料の極低温赤外線透過率測定装置の開発 李源（名古屋大学）
10:24	V236a 宇宙望遠鏡のための紫外線カタログ開発 大平明日香（東京工業大学）	13:54	V247a 極低温中間赤外線での Immersion Grating 材料の屈折率測定方法の開発 榎木谷海（総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構）
10:36	V237a 超小型衛星による宇宙可視光背景放射観測ミッション VERTECS 佐野圭（九州工業大学）	14:06	V248a JASMINE 計画の全体的な概要と進捗 郷田直輝（国立天文台）
10:48	V238a 宇宙可視光背景放射観測 6U 衛星 VERTECS：ミッション概要 瀧本幸司（九州工業大学）	14:18	V249a JASMINE 搭載検出器の性能評価試験：128x128 画素素子の量子効率測定 宮川 浩平（国立天文台）
11:00	V239a CIB 観測ロケット実験 CIBER-2：第2回打上げ実験の準備状況 松浦周二（関西学院大学）	14:30	V250a JASMINE での精密測光・位置天文に向けた検出器の新しい較正手法の開発 多田将太郎（総合研究大学院大学）
11:12	V240a 准共通光路波面分割型位相シフト干渉法による 2D FT-IR 分光器の性能評価 趙彪（名古屋大学）	14:42	V251a JASMINE のデータ解析 山田良透（京都大学）
11:24	V241a LAPYUTA 計画の検討状況 土屋史紀（東北大学）	14:54	V252b JASMINE 望遠鏡光学系の開発：バンドパスフィルタの影響解析 鹿島伸悟（国立天文台）
11:36	V242a 高感度太陽紫外線分光観測衛星 SOLAR-C: プロジェクト最新状況(2023年春) 清水敏文（宇宙航空研究開発機構）	14:54	V253b 多数枚撮像による高精度星像位置決定の多角的な実証 矢野太平（国立天文台）
11:48	V243a SOLAR-C 計画：観測装置 EUVST 設計検討の進捗報告 原弘久（国立天文台）	14:54	V254b HiZ-GUNDAM衛星搭載の近赤外線望遠鏡の熱解析 福井陽喜（東京都市大学）
12:00	V244a SUNRISE-3 大気球太陽観測実験：2022 年のフライト結果 勝川行雄（国立天文台）	15:06	質疑応答（10 分）
12:12	質疑応答（10 分）		

V3. 観測機器 (X線・ γ 線)

3月14日(火) 午後・A会場			V313c 超小型衛星による、宇宙空間からの太陽中性子の観測 (VI) 山岡和貴 (名古屋大学)
13:30	V301a オーバーハング吸収体を用いた TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 宮川陸大 (東京大学)	15:18	質疑応答 (10 分)
13:42	V302a 精密X線分光分析に向けた大規模なTES型X線マイクロカロリメータシステムの開発 林佑 (高エネルギー加速器研究機構)	3月15日(水) 午前・A会場	
13:54	V303a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Resolve の開発の現状 XII Uchida, Yuusuke (東京理科大学)	10:00	V314a 超小型X線衛星 NinjaSat の開発進捗 (2) 武田朋志 (東京理科大学/理化学研究所)
14:06	V304a マイクロカロリメータ精密分光器のあたらしい軌道上ゲインドリフト推定法 澤田真理 (理化学研究所)	10:12	V315a 地球磁気圏 X 線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) 搭載検出器の開発 松本拓也 (関東学院大学)
14:18	V305a X 線分光撮像衛星 (XRISM) 搭載軟 X 線撮像装置 (Xtend) の開発の現状 (9) 信川久実子 (近畿大学)	10:24	V316a X 線偏光観測衛星 IXPE の現状 (3) 玉川徹 (理化学研究所)
14:30	V306a X 線分光撮像衛星 XRISM の科学運用準備の現状 (2) 米山友景 (ISAS/JAXA)	10:36	V317a 硬X線集光偏光計 XL-Calibur 気球実験の 2022 年フライトと今後 高橋弘充 (広島大学)
14:42	V307a X 線分光撮像衛星 XRISM の科学運用に向けての模擬試験 林克洋 (ISAS/JAXA)	10:48	V318a GRAMS 計画 7: 全体報告 小高裕和 (東京大学)
14:54	V308b X 線分光撮像衛星 XRISM の観測データ処理ツールの開発状況 山田智史 (理化学研究所)	11:00	V319a GRAMS 計画 8: 工学気球実験に向けた準備 新井翔大 (東京大学)
14:54	V309b X 線分光撮像衛星 XRISM 時刻システムの地上評価検証 (II) 志達めぐみ (愛媛大学)	11:12	V320a 軟X線から硬X線の広帯域を高感度で撮像分光する衛星計画 FORCE の現状 (15) 森浩二 (宮崎大学)
14:54	V310b 原子層堆積法を用いた Co 成膜 Si 光学系の開発 辻雪音 (東京都立大学)	11:24	V321a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 56:MeV ガンマ線観測への応用に向けた SOI ピクセル検出器の基礎特性評価 (2) 橋爪大樹 (広島大学)
15:06	V311b GEO-X 衛星に向けた迷光防止用コリメータの開発 村川貴俊 (東京都立大学)	11:36	V322a SOI 技術を用いた新型X線撮像分光器の開発 57: PDD 構造を持つ大面積X線 SOI-CMOS 検出器 XRPIX の性能評価 泉大輔 (宮崎大学)
	V312c HiZ-GUNDAM 搭載用 X 線検出器に関するデータ処理手法の検証 山口嵩史 (関西学院大学)	11:48	質疑応答 (10 分)

V3. 観測機器

3 月 15 日（水）午後・A 会場		3 月 16 日（木）午前・A 会場	
13:30	V323a X 線高分解能撮像に寄与する革新的な観測方位計測システム“TAMS”の提案 塚野達樹（早稲田大学）	10:00	V332a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 に搭載するプレ・コリメータの開発 佐藤慶暉（総合研究大学院大学）
13:42	V324a X 線高分解能撮像に寄与する革新的な観測方位計測システム“TAMS”のクロスプリズムの研究報告 寺田怜央（早稲田大学）	10:12	V333a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 搭載電鍍 X 線望遠鏡の開発の現状と光線追跡シミュレーションによる性能評価 作田皓基（名古屋大学）
13:54	V325a 多重像 X 線干渉計 MIXIM の開発 - EM アルゴリズムを用いた復号解析 - 朝倉一統（大阪大学）	10:24	V334a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 搭載電鍍 X 線望遠鏡の性能評価 (1) 藤井隆登（名古屋大学）
14:06	V326a 可視光による Lobster Eye Optics の焦点距離測定法の評価 後藤初音（金沢大学）	10:36	V335a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 搭載電鍍 X 線望遠鏡の性能評価 (2) 安福千貴（名古屋大学）
14:18	V327a 狭視野 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠鏡による気球実験の試作機 miniSGD の開発 大熊佳吾（名古屋大学）	10:48	V336a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 に用いる CMOS イメージセンサの X 線光子計測能力評価 その 2 清水里香（総合研究大学院大学）
14:30	V328a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告 (23) 窪秀利（東京大学）	11:00	V337a 太陽観測ロケット実験 FOXSI-4 に向けたワイドギャップ CdTe ストリップ検出器の開発と性能評価 III 長澤俊作（東京大学 Kavli IPMU）
14:42	V329a CTA-LST 初号基と MAGIC による TeV ガンマ線同時観測のための解析手法の開発 須田祐介（広島大学）	11:12	V338a <i>PhoENIX</i> 衛星計画に向けた高精度 Wolter ミラーの開発研究 加島颯太（宇宙航空研究開発機構/関西学院大学）
14:54	V330a CTA 大口径望遠鏡 2-4 号機における波形記録チップ DRS4 のサンプリング時間幅較正 服部勇大（茨城大学）	11:24	質疑応答 (10 分)
15:06	V331a ALPACA 実験 4: ALPAQUITA 初期性能と今後の建設計画 埴隆志（東京大学）		
15:18	質疑応答 (10 分)		

W. コンパクト天体

3 月 13 日（月）午後・D 会場			3 月 14 日（火）午前・D 会場		
13:00	W01a	MAXI/GSC が検出した 2022 年度後半の突発現象 根来均（日本大学）	10:00	W12a	孤立ブラックホール磁気圏からの高エネルギーガンマ線放射とその検出可能性 金滉基（東北大学）
13:12	W02a	NuSTARのSN1987A 観測中に認められた serendipitous source の調査 佐藤淳矢（大阪大学）	10:12	W13a	超臨界降着流から噴出するラインフォース駆動型円盤風 野村真理子（呉工業高等専門学校）
13:24	W03a	短時間の可視光突発現象の検出を目指した広視野 CMOS カメラ Tomo-e Gozen の大規模動画データ解析パイプラインの開発 有馬宣明（東京大学）	10:24	W14a	連星種ブラックホールの降着成長：力学的摩擦 鈴口智也（京都大学）
13:36	W04a	ディープラーニングによるブラックホール連星系の X 線高速変動の解明 牧田佳大（立教大学）	10:36	W15a	円盤コロナモデルの最適化と低周波 QPOのLense-Thirring モデルによる理解 久保田あや（芝浦工業大学）
13:48	W05a	Magnetohydrodynamic simulations of outflows from white dwarf merger remnants Zhong, Yici (The University of Tokyo)	10:48	W16a	LASSO によるブラックホール連星 XTE J1550-564 の低周波 QPO の解析 鶴見一輝（芝浦工業大学）
14:00	W06a	スペクトル・時間変動解析に基づく強磁場白色矮星 AE Aquarii の非熱的放射の性質の探査 南喬博（東京大学）	11:00	W17a	Gaia で観測可能な恒星質量ブラックホール連星の空間分布に関する理論予想 鹿内みのり（東京大学/ブリティッシュコロンビア大学）
14:12	W07a	Z Cam 型矮新星におけるアウトバースト頻度の長期変動 大島誠人（兵庫県立大学）	11:12	W18a	位置天文衛星 Gaiaによるブラックホール連星探査とその候補天体 谷川衝（東京大学）
14:24	W08a	矮新星 MASTER OT J030227.28+191754.5 における、アウトバースト中のX線放射の起源 木邑真理子（理化学研究所）	11:24	W19b	コンプトン散乱を考慮した偏光 X 線の輻射輸送計算コードの開発Ⅱ 竹林晃大（筑波大学）
14:36	W09a	史上最大規模の矮新星アウトバースト：MASTER OT J030227.28+191754.5 反保雄介（京都大学）	11:24	W20b	突発的超臨界降着流の一般相対論的輻射磁気流体計算：降着構造と衝撃波について 島田悠愛（筑波大学）
14:48	W10a	スーパーチャンドラセカル質量白色矮星の重力崩壊 森正光（東京大学）	11:24	W21b	カー・ブラックホール周りにおける Magnetically Arrested Supercritical Disk の一般相対論的輻射磁気流体シミュレーション 内海碧人（筑波大学）
15:00	W11b	$\text{Pa}\beta$ 特殊狭帯域フィルターによる Norma Arm Region の白色矮星連星系探査 森鼻久美子（国立天文台）	11:36	W22b	一般相対論的輻射磁気流体力学計算による亜臨界降着円盤の内縁構造とブラックホールスピンの研究 大野翔大（筑波大学）
15:12		質疑応答（10 分）	11:48		質疑応答（10 分）

3 月 14 日（火）午後・D 会場		3 月 15 日（水）午前・D 会場	
13:30	W23a 超高光度 X 線源 NGC 5408 X-1 からの CO 分子輝線の検出 水本岬希（京都大学）	10:00	W34a 超広帯域電波観測で探る PSR J1107-5907 の bright 状態 喜久永智之介（熊本大学）
13:42	W24a X-raying the Birth of Binary Neutron Stars and Neutron Star-Black Hole Binaries 樫山和己（東北大学）	10:12	W35a 降着 X 線パルサーのパルスプロファイル解析を用いた降着円柱からの放射異方性の解明 丹波翼（東京大学）
13:54	W25a SS433-W50 システムにおける物質流とその振舞い 井上一（宇宙航空研究開発機構）	10:24	W36a 降着駆動型 X 線パルサーの軟 X 線超過放射と低電離鉄輝線の系統的な解析 永井悠太郎（京都大学）
14:06	W26a 幾何学的に厚い降着円盤での磁束輸送に関する解析的・数値的研究 山本凌也（大阪大学）	10:36	W37a 四重極子磁場を有する中性子星への超臨界降着流の一般相対論的輻射磁気流体力学シミュレーション 井上壮大（筑波大学）
14:18	W27a ブラックホール近傍で起こる磁気リコネクションの磁気レイノルズ数依存性 小出美香（崇城大学）	10:48	W38a 中性子星 X 線連星 Aql X-1 の X 線及び可視光変動の研究 (2) 庭野聖史（東京工業大学）
14:30	W28a 相対論的流体力学を記述する Godunov SPH 法の開発 北島敏大（名古屋大学）	11:00	W39a Be/X 線連星パルサー EXO 2030+375 のジャイアントアウトバースト後の活動 中島基樹（日本大学）
14:42	W29a 相対論的アルフベン波中の電子の放射過程 後藤瞭太（東京大学）	11:12	W40a X 線トランジェント MAXI J0709-153 (Be 星 LY CMa) の可視光分光観測 志達めぐみ（愛媛大学）
14:54	W30a 相対論的 Alfvén 波の崩壊不安定性のパラメータ依存性 石崎渉（京都大学）	11:24	W41a 中性子星の冷却に伴う超流動状態の出現がスピンダウンに及ぼす影響 野田常雄（久留米工業大学）
15:06	W31b 歳差運動する超臨界降着円盤の光度変動 朝比奈雄太（筑波大学）	11:36	W42a SN 1987A 内の中性子星からの熱放射検出の可能性 土肥明（広島大学/理化学研究所）
15:06	W32b SS433 ジェット先端フィラメントの広帯域スペクトル解析 酒見はる香（鹿児島大学）	11:48	W43a Evolution of fast neutrino flavor conversions with scattering effects in core-collapse supernovae Delfan Azari, Milad (Waseda University)
15:06	W33b ブラックホールへの降着流最内縁領域からの定常的ジェット放出 井上一（宇宙航空研究開発機構）	12:00	W44b 中性子星内部のニュートリノ冷却が X 線バーストの元素合成に及ぼす影響 土肥明（広島大学/理化学研究所）
15:18	質疑応答 (10 分)	12:12	質疑応答 (10 分)

3 月 15 日 (水) 午後・D 会場		3 月 16 日 (木) 午前・D 会場	
13:30	W45a 中性子星のクラストにおいて保持可能な弾性限界内の磁場の強度と形状 小嶋康史 (広島大学)	10:00	W55a 親星外層中を伝搬するガンマ線バーストジェット of 3 次元相対論的流体シミュレーション、解像度の影響 水田晃 (理化学研究所)
13:42	W46a クラストの弾性力によって支えられた比較的強いトロイダル磁場を持つ中性子星 藤澤幸太郎 (東京大学)	10:12	W56a ロングガンマ線バーストに付随する熱的コクーン放射の光度曲線モデリング 鈴木昭宏 (東京大学)
13:54	W47a 相対論的効果を考慮したマグネターの X 線パルス波形の解析 屈楚舒 (東京大学)	10:24	W57a Cocoon emission in neutron star mergers HAMIDANI, HAMID (Tohoku University)
14:06	W48a ガンマ線連星 LS 5039 : 「あすか」データによる ~9 秒パルスの確認 牧島一夫 (東京大学)	10:36	W58a ガンマ線バースト残光の流体スケール乱流磁場による偏光 桑田明日香 (東北大学)
14:18	W49a X 線偏光観測衛星 IXPE によるマグネター 4U 0142+61 の偏光観測 内山慶祐 (東京理科大学/理化学研究所)	10:48	W59a 相対論的衝撃波における下流乱流磁場生成効果による粒子加速 森川莞地 (東京大学)
14:30	W50a マグネターのバーストにおける Expanding fireball 和田知己 (東京大学)	11:00	W60a 観測史上最も明るいガンマ線バースト GRB 221009A の MAXI, <i>Swift</i> , NICER による観測 小林浩平 (日本大学)
14:42	W51a 分子ガス観測で明らかになった高速電波バースト母銀河の多様性 廿日出文洋 (東京大学)	11:12	W61a スーパーカミオカンデ実験におけるガンマ線バースト GRB221009A 由来のニュートリノ探索 藤田紗希 (東京大学/カブリ数物連携宇宙研究機構)
14:54	W52a The molecular gas kinematics in the host galaxy of non-repeating FRB 180924B Hsu, Tzu-Yin (National Tsing Hua University)	11:24	W62a 重力波に付随するニュートリノ信号の予言: GRB211211A を用いた検証 松井理輝 (東北大学)
15:06	W53a 高速電波バースト可視光放射への同時・追跡観測制限 平松大地 (Center for Astrophysics Harvard & Smithsonian)	11:36	W63a ガンマ線バーストの可視・電波偏光同時観測から測る真の全エネルギー 當真賢二 (東北大学)
15:18	W54a Detection rate of fast radio bursts in the Milky Way with BURSTT Hashimoto, Tetsuya (National Chung Hsing University)	11:48	W64a 超高エネルギーガンマ線バーストの二成分を持つジェットからの多波長残光放射 佐藤優理 (青山学院大学)
15:30	質疑応答 (10 分)	12:00	質疑応答 (10 分)

X. 銀河形成

X. 銀河形成・進化

3 月 13 日 (月) 午後・H 会場		14:48	X12b	重力レンズ天体を判別する機械学習モデルの作成 石田侑一郎 (九州大学)
13:00	X01a			The Formation of Pop III Star Clusters under UV radiation Xhemollari, Oerd (University of Tsukuba)
13:12	X02a	14:48	X13b	深層学習を用いた渦巻銀河のS型・Z型の分類 河田元氣 (芝浦工業大学)
				The Age of Discovery with the James Webb Space Telescope: Excavating the Spectral Signatures of the First Massive Black Holes 稲吉恒平 (北京大学)
13:24	X03a	14:48	X14b	異常検知を用いた暗黒物質サブハロー探索システムの構築 坂本朋弥 (芝浦工業大学)
				Morphologies of Galaxies at $z \simeq 9 - 16$ Uncovered by JWST/NIRCam Imaging 小野宜昭 (東京大学)
13:36	X04a	15:00	X15b	HSC-SSPデータを用いた天の川銀河トモグラフィー 2 鈴木善久 (東北大学)
				Mass-Metallicity Relation of Galaxies at $z=5-9$ with Improved Reduction and Calibration of First Batch of JWST/NIRSpec Data 中島王彦 (国立天文台)
13:48	X05a	15:12		質疑応答 (10 分)
				Early Results on Early Galaxies from the GLASS JWST Early Release Science Program Morishita, Takahiro (Caltech/IPAC)
14:00	X06a			JWST observations of ALMA [O III] $88\mu\text{m}$ emitters in the epoch of reionization 橋本拓也 (筑波大学)
14:12	X07a			EIGER 初期成果: 宇宙再電離における銀河の役割と銀河間ガスの進化および超大質量ブラックホールの形成 柏野大地 (名古屋大学)
14:24	X08a			遠方銀河シミュレーションを用いた [O III] 輝線強度計算と輝線比診断 仲里佑利奈 (東京大学)
14:36	X09b			$4 \leq z \leq 7$ の星形成銀河における超大質量ブラックホールの成長率と母銀河との関係 松井思引 (東京大学)
14:36	X10b			高赤方偏移に存在する Quenching 銀河の形成メカニズムの解明 柿元拓実 (総合研究大学院大学)
14:36	X11b			Near-Infrared Characterization of Ultra-Diffuse Galaxies in Abell 2744 Cluster by JWST/NIRISS imaging 池田遼太 (総合研究大学院大学/国立天文台)

3 月 14 日（火）午前・H 会場			3 月 14 日（火）午後・H 会場		
10:00	X16a	高赤方偏移の銀河衝撃波による銀河間空間における構造形成 照井勇登（防衛大学校）	13:30	X26a	面分光観測によるライマン連続光放射銀河候補の Ly α 輝線ハローの分析 小森楓雅（早稲田大学）
10:12	X17a	Dusty-gas 内を漂う種ブラックホール の Bondi-Hoyle-Lyttleton 降着：円盤 shadow 角依存性 尾形絵梨花（筑波大学）	13:42	X27a	Discovery of a protocluster of massive quiescent galaxies at $z=2.77$ 伊藤慧（東京大学）
10:24	X18a	Observation of the [O III] 52 micron emission from a $z=7.2$ galaxy Ren, Yi W. (Waseda University)	13:54	X28a	Characterizing CO Emitters in SSA22-AzTEC26 Field Huang, Shuo (The University of Tokyo)
10:36	X19a	JWST Exploration of Early Growth History of Supermassive Black Holes and Host Galaxies at $z > 6$: First Results 尾上匡房（北京大学KIAA/Kavli IPMU）	14:06	X29a	JWST mid-infrared number counts and inferred cosmic star-formation history Goto, Tomotsugu (National Tsing Hua University)
10:48	X20a	ALMA 多天体観測で調べる高赤方偏移低光度クエーサーでの始原的共進化 泉拓磨（国立天文台/東京都立大学）	14:18	X30a	IMF と銀河の形状を変化させたダスト進化モデルと遠方銀河への適用 河本慧理奈（名古屋大学）
11:00	X21a	Molecular outflow in the reionization-epoch quasar J2054-0005 revealed by OH 119 μ m observations Salak, Dragan (Hokkaido University)	14:30	X31a	HSC-SSP と CHORUS サーベイデータを基にした LAE カタログの作成 菊田智史（国立天文台）
11:12	X22a	Massive molecular gas companions uncovered by VLA CO(1-0) observations of the $z = 5.2$ radio galaxy TN J0924-2201 Lee, Kianhong (University of Tokyo)	14:42	X32a	The second data release (DR2) of the Uchuu simulations: 銀河カタログ 石山智明（千葉大学）
11:24	X23a	JWST/NIRSpec の線拡がり関数を用いて探る遠方銀河の動力学と星間物質 磯部優樹（東京大学）	14:54	X33a	SMBH質量-バルジ質量関係の赤方偏移進化 清水達生（北海道大学）
11:36	X24a	Ruby-Rush: $z \sim 5$ の原始銀河団で加速的に誕生する巨大銀河の探査 高橋宏典（東北大学）	15:06	X34a	PFS 時代の galaxy-IGM study に向けた宇宙論的流体シミュレーション 奥裕理（大阪大学）
11:48	X25a	Star Formation Rate Functions at $z \geq 4$ indicated from GSMFs and MS relations 浅田喜久（京都大学）	15:18	X35a	Impact of magnetic field and thermal conduction onto cold streams accreting massive high redshift galaxies Ledos, Nicolas (Osaka University)
12:00		質疑応答 (10 分)	15:30		質疑応答 (10 分)

X. 銀河形成

3 月 15 日（水）午前・H 会場			3 月 15 日（水）午後・H 会場		
10:00	X36a	Red Spiral Galaxies at Cosmic Noon Unveiled in the First JWST Image 札本佳伸（早稲田大学）	13:30	X46a	CO(2-1) ガス分布形態の定量的・統計的解析による銀河棒状構造と分子ガス中央集中度の関係について 山本卓（筑波大学）
10:12	X37a	High-resolution ALMA study of structure and gas kinematics of cluster galaxies at $z=1.46$ 池田遼太（総合研究大学院大学/国立天文台）	13:42	X47a	Mixing-Fallback 超新星爆発モデルで探る極金属欠乏銀河の豊富な鉄の起源 渡辺くりあ（総合研究大学院大学）
10:24	X38a	強輝線銀河における電離領域の物理状態と電離光子脱出率 藤谷愛美（名古屋大学）	13:54	X48a	すばる望遠鏡/Suprime-Cam, FOCAS によるかみのけ座銀河団の $H\alpha$ 光度関数 太田隼（法政大学）
10:36	X39a	Statistical study of recently quenched galaxies in preparation for PFS MAO, Zhiying (Tohoku University)	14:06	X49a	電離光子放射天体 Mrk54I における $[O III] 88 \mu m$ と $[C II] 158 \mu m$ の検出とその意味 - 高赤方偏移 ALMA 研究への示唆 II 浦遼太（筑波大学）
10:48	X40a	中間赤方偏移における極端に大きな星形成率を示す銀河種族の探査 (II) 佐久間昂太（東北大学）	14:18	X50a	近傍渦巻き銀河 M74 における巨大分子雲の Type 分類と進化 出町史夏（名古屋大学）
11:00	X41a	GALAXY CRUISE: summary of the 1st season 田中賢幸（国立天文台）	14:30	X51a	Estimating the total mass and onset timing of galactic winds in dwarf galaxies using Galactic Archaeology 松井瀬奈（名古屋大学）
11:12	X42a	GALAXY CRUISE: Morphological classification with deep learning 嶋川里澄 (NAOJ)	14:42	X52a	すばる望遠鏡/HSC で探るこぐま座矮小楕円体銀河の星形成史の空間依存性 佐藤恭輔（法政大学）
11:24	X43a	Quantitative investigation of the impact of mergers in AGN activity in HSC-SSP Omori, Kiyooki (Nagoya University)	14:54	X53a	Galaxy Collisions and Dynamical Evolution of the Andromeda Galaxy 森正夫（筑波大学）
11:36	X44a	銀河衝突後期段階における光電離アウトフロー速度の進化 油谷直道（鹿児島大学）	15:06	X54a	すばる望遠鏡/HSC による深観測で探る NGC5466 広域分布 小上樹（総合研究大学院大学）
11:48	X45a	HINOTORI: a Statistical Study of Rejuvenated Galaxies with the MaNGA Sample 田中匠（東京大学）	15:18		質疑応答 (10 分)
12:00		質疑応答 (10 分)			

Y. 天文教育・広報普及・その他

3 月 16 日（木）午前・H 会場			3 月 14 日（火）午前・B 会場		
10:00	X55a	Exploring Galaxy Spectra by Deep Learning Iwasaki, Daiki (Nagoya University)	10:00	Y01a	高校理科必修科目に関するカリキュラム研究 (I) 縣秀彦 (国立天文台)
10:12	X56a	Generative Model of Simulated Galaxies for Fitting Observed SEDs Cooray, Suchetha (Nagoya University)	10:12	Y02a	東京学芸大学新 40cm 鏡による昼間の小学校の教室からの遠隔月面観測 土橋一仁 (東京学芸大学)
10:24	X57a	Application of machine learning to the spatially resolved SFR-Mass relation SHI, Wen E. (Nagoya University)	10:24	Y03a	ひので衛星といっしょに太陽を観測しよう！ 2010-2022 矢治健太郎 (核融合科学研究所)
10:36	X58a	改良版 Balsara Switch を用いた、SPH 法の持つ空間ゼロ次誤差が誘発する偽 Kelvin-Helmholtz 不安定の抑制 湯浅拓宏 (筑波大学)	10:36	Y04a	岡山クーデ分光乾板デジタルアーカイブの予備調査 III 柳澤顕史 (国立天文台)
10:48	X59a	Measuring the dark matter halo of a dwarf spheroidal galaxy through normalizing flows Lim, Sung Hak (Rutgers, The State University of New Jersey)	10:48	Y05a	東京電機大学天文学研究室の立ち上げとその運営 樋口あや (東京電機大学)
11:00	X60a	高分解能矮小銀河形成シミュレーションで探るコアカスプ問題 金子克大 (東京大学)	11:00	Y06b	小中学校理科におけるプラネタリウム学習投影の現状と課題 II 二瓶美生 (上越教育大学)
11:12	X61a	ダークマターハローの scaling relation の起源とカスプ - コア遷移 金田優香 (筑波大学)	11:00	Y07b	高校生・大学生を対象としたプラネタリウム番組制作を通した天文教育の実践報告 (2) 大朝由美子 (埼玉大学)
11:24	X62a	銀河衝突によるダークマター欠乏銀河の形成：フィードバックモデル依存性について 大滝恒輝 (筑波大学)	11:00	Y08b	高校生・大学生を対象としたプラネタリウム番組制作を通した天文教育の実践報告 (1) 小田達功 (さいたま市宇宙劇場)
11:36	X63a	宇宙論的 N 体シミュレーションデータから探るダークマターサブハローの角運動量ベクトルの進化 長船大樹 (鹿児島大学)	11:12	Y09b	教育用簡易電波干渉計プロトコル "j-VLBI" 構想 Vol.3.0 木村正樹 (株式会社リバネス)
11:48		質疑応答 (10 分)	11:12	Y10b	授業教材としての受信実験専用超小型衛星を目指した放射線耐性試験の試行 内山秀樹 (静岡大学)
			11:12	Y11b	中高における科学史を踏まえた天文教育 - 年周視差と地球の公転の学習 - 林隆之 (麻布中学校・高等学校)
			11:24	Y12b	国際天文学オリンピックへ日本チーム初参加 中道晶香 (京都産業大学)

11:24	Y13b	東京学芸大学新 40cm 鏡の広帯域フィルター及び冷却 CCD カメラの性能評価 西浦慎悟（東京学芸大学）	3 月 14 日（火）午後・B 会場	
11:24	Y14b	光学赤外線天文学観測データアーカイブシステムにおける検索高速化の研究 小澤武揚（国立天文台）	13:30	Y18a 国立天文台「市民天文学」プロジェクト GALAXY CRUISE への参加理由調査 臼田 - 佐藤功美子（国立天文台）
11:36	Y15b	天文衛星による観測データを用いたプログラミング教材の作成 村上弘志（東北学院大学）	13:42	Y19a ダジック・アースを用いた天文教育の調査 萩野正興（国立天文台）
11:36	Y16b	釜山 IAU 総会における外国語固有名詞の発音調査 佐藤勲（宇宙用語研究会）	13:54	Y20a 大妻女子大学での宇宙に関する企画展の開催 下井倉ともみ（大妻女子大学）
11:48	Y17c	紀伊半島周辺の小中学生を対象とした天体望遠鏡の組み立て講座実施報告 池田浩之（和歌山工業高等専門学校）	14:06	Y21a 夜空の明るさ測定へのスマートフォン搭載カメラの適用可能性評価 小野間史樹（星空公団）
		質疑応答（10 分）	14:18	Y22a 市民科学で読み解く「光害」と「光害研究」の動向 大西浩次（長野工業高等専門学校）
			14:30	Y23a 高齢者のウェルビーイングに貢献する天文学 鴈野重之（九州産業大学）
			14:42	Y24a 低頻度大規模災害としての宇宙由来イベントの学際的研究への予備的調査 玉澤春史（京都大学/京都市立芸術大学）
			14:54	Y25a 元素楽章×元素合成: 元素擬人化で表現する宇宙の元素合成 西村信哉（理化学研究所）
			15:06	Y26a 女性計算係の英米日比較 馬場幸栄（国立科学博物館）
				Y27c 元素楽章×元素合成 西村信哉（理化学研究所）
			15:18	質疑応答（10 分）

2023 年 2 月 20 日発行

年会実行委員会

委員長 古 澤 久 徳 (国立天文台)

委 員	和 泉	究	(宇宙航空研究開発機構)	
	岩 切	涉	(千葉大学)	
	大 澤	亮	(国立天文台)	
	大 宮 正 士		(アストロバイオロジーセンター)	
	大 屋 瑤 子		(京都大学)	
	鈴 木 知 治		(中部大学)	
	甘日出 文 洋		(東京大学)	
	堀 田 英 之		(千葉大学)	
	松 岡 良 樹		(愛媛大学)	
	浅 井 歩		(京都大学)	保育室担当
	市 来 淨 與		(名古屋大学)	保育室担当

年会開催地理事

北 本 俊 二 (立教大学)